

航空防除用農薬要覧

2024

一般社団法人 農林水産航空協会

航空防除用農薬要覧 目 次

I. 航空防除用農薬の適用病害虫一覧	
1. 水 稻	1
2. 畑 作	3
3. 果 樹	3
4. 森 林	4
5. 誘引剤	4
II. 航空防除用として登録のある農薬（品目別）	
1. 殺 菌 剤	6
2. 殺 虫 剤	34
3. 殺虫・殺菌剤	53
4. 植物成長調整剤・誘引殺虫剤・林地除草剤・殺そ剤等	71
（「毒性」欄に記載されている普通物とは毒劇物に該当しないものを指している通称です。）	
III. 農薬の安全使用	
1. 航空防除用農薬の混用事例集	84
2. 蜜蜂に対する影響	92
3. 蚕（桑）に対する影響	95
4. 対象外作物に対する薬害	96
5. 各種農薬製剤の自動車塗装に対する影響	97
6. 航空防除に使用される主な農薬の有効成分	99
7. 航空防除後の降雨が防除効果に及ぼす影響	101
IV. 索 引	104

I. 航空防除用農薬の適用病害虫一覧

〔記号の説明〕			
(水) 水和剤	(液) 液剤	○：液剤散布	▲：液剤，液少散布
(乳) 乳剤		△：液少散布	■：液少，微量散布
(微) 微粒剤F		□：微量散布	●：微粒剤F散布
(粒) 粒剤		◎：液剤，液少，微量散布	◆：粒剤散布
(MC) マイクロカプセル剤		×：投下	★：液剤，微量散布

1. 水 稲 (殺菌剤)

薬 剤 名	病 害 名	頁	い も ち 病	紋 枯 病	稲 こ う じ 病	穂 枯 れ (こま葉枯病菌)
アミスターエイト (水)		6	◎	◎		
フジワシ 乳 剤 (乳)		8	▲		▲	
カスミン 液 剤 (液)		9	▲			
ダブルカットフロアブル (水)		10	△			△
ダブルカットバリダフロアブル (水)		11	△	△	△	
トップジン M ゾル (水)		14	■			
ビームゾル (水)		15	◎			
ビームエイトゾル (水)		16	◎			
ビームバリダゾル (水)		17	◎	◎		
ノンブラスフロアブル (水)		18	◎			
バリダシンエアー (液)		19		◎		
コラトップ粒剤 24 (粒)		20	◆			
ブラシンゾル (水)		21	◎			
ブラシンバリダゾル (水)		22	○	○		
ラブサイドフロアブル (水)		23	◎			
モンカットフロアブル (水)		24		◎		
モンカットラブサイド20フロアブル (水)		25	■	■		
オリゼメート粒剤 20 (粒)		26	◆			
ブラシンバリダフロアブル (水)		27	○	○		○
ブラシンフロアブル (水)		29	○		○	○
モンセレンフロアブル (水)		31		◎		
バシタックゾル (水)		32		▲		

(殺虫剤)

害虫名 薬剤名	頁	ニカメイチュウ	第一世代	イネツトムシ	カメムシ類	ウンカ類	ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ツマグロヨコバイ幼虫	イネハモグリバエ	イネヒメハモグリバエ	フタオビコヤガ	イナゴ類	コブノメイガ	
																薬剤名
キラップフロアブル(水)	34				△	△										
トレボンエアー(乳)	35				▲	▲			▲					▲	○	
トレボンスカイMC(MC)	37				▲	▲			▲					△		
ダントツフロアブル(水)	39				▲	▲			○							
スタークル液剤10/スタークルメイト液剤10(液)	40				▲	▲										
スミチオン水和剤40(水)	44		○													
スミチオン乳剤(乳)	45	▲		○	▲			○			○	○	○			
オーケストラフロアブル	47						○			○						

(殺虫殺菌剤)

病害虫名 薬剤名	頁	ウンカ類	ツマグロヨコバイ	カメムシ類	コブノメイガ	いもち病	紋枯病	内穎褐変病	もみ枯細菌病
アミスタートレボンSE(水)	53	▲	▲	▲	▲	▲	▲		
ダブルカットトレボンフロアブル(水)	55	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲
ビームエイトトレボンゾル(水)	57	◎	▲	◎		◎			
ブラシダントツフロアブル(水)	59	▲		▲		▲			
ノンブラスダントツフロアブル(水)	61	△		△		△			
ラブサイドダントツフロアブル(水)	63	△		△		△			
ラブサイドスタークルフロアブル(水)	65	▲		▲		▲			
トップジンスタークルフロアブル(水)	66	▲		▲		▲	▲		
ダブルカットエクシードフロアブル(水)	68	▲	▲	▲		▲			

4. 森 林 (殺虫剤)

害虫名 薬剤名	頁	マツノマダラカミキリ (成虫)	マツノマダラカミキリ (幼虫)	キクイムシ類	松毛虫	マイマイガ・ドクガ類 (マツカレハ)	ハバチ類	ハマキガ類	エダシヤク類	ミスジツマキリ	エダシヤク	ヒノキカワモグリガ
エコワン3フロアブル(水)	42	○										
スミパイン乳剤(乳)	49	▲	○	★	▲	▲	▲	○	▲	▲		○
スミパインMC(MC)	51	○										

(除草剤)

雑草等名 薬剤名	頁	ササ類	ササ	ススキ	クズ	雑かん木	落葉雑かん木	一年生及び	多年生雑草	一年生及び	多年生草木	一年生及び	多年生広葉雑草
塩素酸塩粒剤(粒)	76	◆		◆		◆		◆					
ザイトロンフレノック微粒剤(微)	78	●		●	●		●			●			
ザイトロン微粒剤(微)	79				●		●					●	
バックアップ粒剤(粒)	80		◆				◆	◆					

(殺そ剤)

害獣名 薬剤名	頁	野	そ	エゾヤチネズミ	適用場所
ヤソデオ(粒)	81		◆		山林
りん化亜鉛10(粒)	82			◆	山林

5. 誘引剤

作物名 薬剤名	頁	かんしょ	果樹	野菜	樹木	花き類 観葉植物
アリモドキコール	73	×				
ユージェサイドD	74		×	×	×	×

作物名 薬剤名	頁	オキナワカンシヤクシコメツキ
オキメラコン	75	×

Ⅱ. 航空防除用として登録のある農薬（品目別）

1. 殺菌剤

No.	農薬品名	有効成分%	頁
1	アミスターエイト	アゾキシストロビン 8.0	6
2	フジワン乳剤	イソプロチオラン 40.0	8
3	カスミン液剤	カスガマイシン 2.0	9
4	ダブルカットフロアブル	カスガマイシン 1.2 トリシクラゾール 8.0	10
5	ダブルカットバリダフロアブル	カスガマイシン 1.2 トリシクラゾール 8.0 バリダマイシン 5.0	11
6	トップジンM水和剤	チオファネートメチル 70.0	13
7	トップジンMゾル	チオファネートメチル 40.0	14
8	ビームゾル	トリシクラゾール 20.0	15
9	ビームエイトゾル	トリシクラゾール 8.0	16
10	ビームバリダゾル	トリシクラゾール 20.0 バリダマイシン 5.0	17
11	ノンブラスフロアブル	トリシクラゾール 8.0 フェリムゾン 15.0	18
12	バリダシンエアー	バリダマイシン 5.0	19
13	コラトップ粒剤24	ピロキロン 24.0	20
14	ブラシンゾル	フェリムゾン 20.0 フサライド 15.0	21
15	ブラシンバリダゾル	バリダマイシン 5.0 フェリムゾン 20.0 フサライド 15.0	22
16	ラブサイドフロアブル	フサライド 20.0	23
17	モンカットフロアブル	フルトラニル 20.0	24
18	モンカットラブサイド20 フロアブル	フサライド 20.0 フルトラニル 20.0	25
19	オリゼメート粒剤20	プロベナゾール 20.0	26
20	ブラシンバリダフロアブル	バリダマイシンA 5.0 フェリムゾン 15.0 フサライド 15.0	27
21	ブラシンフロアブル	フェリムゾン 15.0 フサライド 15.0	29
22	モンセレンフロアブル	ペンシクロン 20.0	31
23	バシタックゾル	メプロニル 40.0	32

(殺菌剤)

(アゾキシストロピン水和剤)

毒性：普通物

アミスターエイト

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：アゾキシストロピン…………… 8.0%

【特 長】

- 一成分で、いもち病・紋枯病・穂枯れ（ごま葉枯病菌）に有効です。更に米の品質に影響を及ぼす稻こうじ病や変色米の一原因となるカーブラリア菌にも効果を示す。
- 予防効果、治療効果を兼ね備え、更に浸透移行性も示す。
- いもち病に対して分生子柄形成および分生孢子形成を強く阻害し、孢子の飛散を抑え、高い二次感染阻止効果が得られる。
- 紋枯病に対して水平進展および垂直進展を阻止する。また、適期幅が広く持続性に富む。
- 収穫14日前までの使用が可能です。

【注意事項】

- りんごの一部品種（あかね、旭、ガラ、きざし、モーリーズデリシャス、ラリタン等）では、葉にネクロシス（褐変）や落葉、または果実にさび果や落果を伴う品種特有の激しい葉害が生ずるので飛散（ドリフト）等により散布液がかからないよう十分に注意する。
また、本剤を使用した散布器具および希釈液タンクを用いて、りんごのこれらの品種には散布しない。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 微量散布および少量散布の場合は微量散布装置の散布器具以外は使用しない。
- 散布薬液の飛散により他の動植物および自動車やカラートタンの塗装に被害を与えないよう散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 水源池、飲料水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - (b)使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
 - (c)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗いし、眼科医の手当を受ける。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

【適用病害及び使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数
稲	いもち病，紋枯病，稲こ うじ病，穂枯れ(ごま葉 枯病菌)，穂枯れ(すじ葉 枯病菌)，変色米(カーブ ラリア菌)，変色米(エピ コッカム菌)，変色米(ア ルタナリア菌)	原液	120～150 ml	収穫14日 前まで	3回以内
		8倍	800 ml		
		30倍	3 l		

アゾキシストロピン を含む農薬の 総使用回数
4回以内 (育苗箱散布は1回 以内，本田では3回 以内)

【取扱いメーカー】

協友アグリ，サンケイ化学

(殺菌剤)

(イソプロチオラン乳剤)

毒性：普通物

フジワン乳剤

性状：淡褐色透明可乳化油状液体

成分：イソプロチオラン……………40.0%

危険物表示：第4類・第2石油類

【特 長】

- いもち病に対し予防，治療の両効果を持っているが，特に予防的に散布した場合に効果的である。
- 効果の持続性にすぐれる。
- 浸透移行性に優れ新しい展開葉にも高い効果を発揮する。
- 液剤少量散布(LV)，液剤散布共に可能。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し，使いきる。
- 混用可能が確認されている農薬以外は，原則として混用はしない。
- アルカリ性薬剤との混用はさける。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 少量散布の場合は，微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中，薬液が漏れないように機体の散布用配管，その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって自動車の塗装等に被害を生じるおそれがあるので，散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 散布終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず，安全な場所に廃棄する。
 - (b)使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者を決めて保管する。
 - (c)機体の散布装置は十分洗浄し，薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 誤飲などないように注意する。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し，眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は，農薬用マスク，手袋，長ズボン，長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足，顔などを石けんでよく洗い，洗顔・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので，養魚田では使用しない。
- 河川，養殖池等に飛散しないよう特に注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	イソプロチオランを含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 稲こうじ病	8倍	800 ml	収穫14日	2回	3回以内 (移植前は1回 以内，本田では 2回以内)
		30倍	3 l	前まで		

【取扱いメーカー】

日本農薬，協友アグリ，ホクサン

(殺菌剤)

(カスガマイシン液剤)

毒性：普通物

カスミン液剤

性状：濃緑色液体

成分：カスガマイシンー塩酸塩…………… 2.3%
(カスガマイシンとして…………… 2.0%)

【特 長】

○いもち病に対する効果が高く、浸透性もすぐれており、効果の発現が早く、散布後の降雨の影響も少ない。

【注意事項】

- 混用可能が確認されているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 少量散布（8倍）の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して散布地域の選定をし、なお境界領域内の諸物件に十分留意する。
- 杉（特に苗木）、れんこん及び大豆には薬害を生ずる恐れがあるので、散布区域の設定に注意して散布する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
 - (b)使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管する。
 - (c)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には、直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 使用の際は、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに、衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 本剤の連続使用によって、薬剤耐性菌が出現し、効果の劣った事例があるので、過度の連用をさけ、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用する。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 河川、養殖池等に飛散しないように特に注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	カスガマイシンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	8倍	800 ml	穂揃期 まで	2回以内	4回以内 (種子浸漬は 1回以内、育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)
		30倍	3 l			

【取扱いメーカー】

北興化学

(殺菌剤)

(カスガマイシン・トリシクラゾール水和剤)

毒性：普通物

ダブルカットフロアブル

性状：淡黄赤色水和性粘稠
懸濁液体

成分：カスガマイシン塩酸塩……………1.37%
(カスガマイシンとして……………1.20%)
トリシクラゾール……………8.0%

【特 長】

- 治療効果に優れるカスガマイシンと、優れた予防効果と持続性、二次感染阻止作用を示すトリシクラゾールの混合剤である。
- いもち病の生活環のほとんどに作用することから、散布適期幅が広い。

【注意事項】

- 使用前によく振ってから使用すること。
- 杉（特に苗木）、れんこん及びだいずには薬害を生ずるおそれがあるのでかからないように注意して散布すること。
- 野菜類の幼苗及びなし（二十世紀、幸水、新水等）には、薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 本剤を空中散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 - (a)各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - (b)少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - (c)散布中、薬液の漏れの無いように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - (d)散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - (e)水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
- 作業終了後は、次の事項を守ること。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に適切に処理すること。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理すること

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の使用回数
稲	いもち病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	8倍	800 ml	穂揃期まで	2回以内

カスガマイシンを 含む農薬の 総使用回数	トリシクラゾールを 含む農薬の 総使用回数
4回以内 (種子浸漬は1回 以内、育苗箱への 処理は1回以内、 本田では2回以 内)	4回以内 (育苗箱への処理 は1回以内、本田 では3回以内)

【取扱いメーカー】

北興化学

(殺菌剤)

(カスガマイシン・トリシクラゾール
・バリダマイシン水和剤)

毒性：普通物

ダブルカットバリダフロアブル

性状：淡黄赤色水和性粘稠
懸濁液体

成分：カスガマイシン塩酸塩……………1.37%
(カスガマイシンとして……………1.20%)
トリシクラゾール……………8.0%
バリダマイシン……………5.0%

【特 長】

- いもち病防除剤ダブルカットと紋枯病防除剤バリダシンの混合剤。
- ダブルカットは、いもち病の稲への侵入や病斑形成阻止に加えて、二次感染阻止作用を有することで、優れた残効性を示す。
- バリダシンは、紋枯病の進展阻止効果に優れる。

【注意事項】

- 使用前によく振ってから使用すること。
- 稲に使用する場合、次のことを注意すること。
 - (a)株元、葉鞘部に対しても散布むらのないように全体に均一に散布すること。
 - (b)紋枯病に対する本剤の防除適期は病斑の上位葉鞘への進展初期の頃であるので病斑の進展を確認してから適期に散布すること。
- 杉（特に苗木）、れんこん及び大豆には薬害を生ずるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布すること。
- 野菜類の幼苗及びなし（二十世紀、幸水、新水等）には、薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- きく（秀芳の力等）には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 本剤を空中散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 - (a)各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - (b)少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - (c)散布中、薬液の漏れの無いように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - (d)散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - (e)水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
- 作業終了後は次の項目を守ること。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に適切に処理すること。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の使用回数
稲	いもち病 紋枯病 もみ枯細菌病	8倍	800 ml	穂揃期 まで	2回以内

カスガマイシンを 含む農薬の 総使用回数	トリシクラゾールを 含む農薬の 総使用回数	バリダマイシンを 含む農薬の 総使用回数
4回以内 (種子浸漬は1回以内, 育苗箱への処理は1回以 内, 本田では2回以内)	4回以内 (育苗箱への処理は1回 以内, 本田では3回以内)	6回以内 (育苗箱灌注は1回以 内, 本田では5回以内)

【取扱いメーカー】

北興化学

(殺菌剤)

(チオファネートメチル水和剤)

毒性：普通物

トップジンM水和剤

性状：淡褐色水和性粉末
45 μm以下

成分：チオファネートメチル……………70.0%

【特 長】

- 強い浸透力があり，植物体に侵入している病原菌を死滅させる。
- 広範囲の作物の病害に基幹防除剤として威力を発揮する。

【注意事項】

- 混用可能が確認されているものを除いて，他の農薬との混用は行わない。
- 本剤の連続使用によって一部の病害に薬剤耐性菌が出現し，効果の劣った事例があるので，過度の連用をさけ，なるべく作用性の異なる他の薬剤と組合わせて輪番で使用する。
- 散布の際は農薬用マスク，不浸透性手袋，長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず，安全な場所に適切に処理する。
 - (b)使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管する。
 - (c)機体散布装置は十分洗浄し，薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
 - (d)顔，手足等の皮膚の露出部を石けんでよく洗い，うがいをする。
- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。また，桑に使用后3日間は蚕に桑葉を給餌しない。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	チオファネート メチルを含む農薬 の総使用回数
みかん	そうか病	30倍	8 ℓ	4～6月	5回以内	8回以内 (塗布は3回以内， 散布，空中散布及び 無人航空機散布は合 計5回以内)

【取扱いメーカー】

クマイイ化学，協友アグリ，北興化学，日本農薬，日本曹達

(殺菌剤)

(チオファネートメチル水和剤)

毒性：普通物

トップジンMゾル

性状：淡褐色水和性懸濁液

成分：チオファネートメチル……………40.0%

【特 長】

- 各種病害にすぐれた効果を持ち、予防効果と発病後のまん延防止に卓効を示す。
- 葉害の心配がほとんどなく、安心して使用できる。
また、有効成分を超微粒子化（1～2 μ）した製剤。

【注意事項】

- 混用可能が確認されているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 本剤の使用に際しては容器をよく振ってから、所定量をとり出し水に入れよく攪拌して散布液を調製する。
- 本剤は長時間放置すると、沈殿を生じることがあるが、振れば容易に元の状態に戻るため必ず元の状態に戻してから使用する。
- 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
- 微量散布及び少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって自動車の塗装等に被害を生ずるおそれがあるので散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は顔、手足などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものと分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に適切に処理する。
 - (b)使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
 - (c)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。
- 本剤の連続使用によって薬剤耐性菌が出現し、効果の劣る恐れがあるので、過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる薬剤と組合せて輪番で使用する。
- だいたいの紫斑病に対しては、落花後から若莢期に2～3回散布する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	チオファネート メチルを含む 農薬の総使用回数
稲	いもち病	原液	200 ml	収穫14日 前まで	3回以内	3回以内(種子への 処理は1回以内)
		4倍	800 ml			
みかん	そうか病	20倍	8 l	4～6月	5回以内	8回以内 (塗布は3回以内、 散布、空中散布及 び無人航空機散布 は合計5回以内)
だいた	紫斑病	5倍	800 ml	収穫14日 前まで	4回以内	4回以内(種子への 処理は1回以内)
		20～30倍	3 l			
れんこん	褐斑病	20倍	3 l	収穫75日 前まで	3回以内	3回以内

【取扱いメーカー】

協友アグリ，日本曹達

(殺菌剤)

(トリシクラゾール水和剤)

毒性：劇物

ビームゾル

性状：淡黄赤色粘稠水和性懸濁液体
(クマイ化学品, ダウ・アグロサイエンス日本品)
淡黄赤色水和性粘稠懸濁液体
(住友化学品)

成分：トリシクラゾール……………20.0%

【特 長】

- いもち病菌の稲体への侵入を強く阻止するので、高い予防効果を示す。
- いもち病菌の孢子形成、孢子飛散を抑制し、飛散孢子の病原力低下作用による二次感染阻止効果が高いため、散布後のいもち病のまん延を抑える。このため、広域に使用される航空防除では、防除効果の持続性はより増強される。
- 稲体に速やかに吸収、移行されるため、安定した防除効果を示し降雨などの影響を受けにくく残効性が高い。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 混用可能が確かめられているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 野菜類の幼苗及びびなし（二十世紀、幸水、新水など）には薬害を生ずる恐れがあるので、付近にある場合にはかからないように注意する。
- 散布薬剤の飛散によって自動車の塗装等に被害を与える恐れがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 貯蔵中に分離することがあるが、振れば元の状態にもどるので、使用に際し容器をよく振ってから調製する。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗い、眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布液調製時及び散布等の作業の際は、防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
 - (c)顔、手足等の皮膚の露出部を石けんでよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病	原液	80~150 ml	収穫7日 前まで	3回以内	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、 本田では3回以内)
		6~8倍	800 ml			
		20~30倍	3 l			

【取扱いメーカー】

住友化学、クマイ化学、日本農薬、サンケイ化学

(殺菌剤)

(トリシクラゾール水和剤)

毒性：普通物

ビームエイトゾル

性状：淡黄赤色粘稠水和性懸濁液体
(クマイイ化学品, ダウ・アグロサイエンス日本品)

成分：トリシクラゾール…………… 8.0%

淡黄赤色水和性粘稠懸濁液体
(住友化学品)

【特 長】

- いもち病菌の稲体への侵入を強く阻止するので、高い予防効果を示す。
- いもち病菌の孢子形成、孢子飛散を抑制し、飛散孢子の病原力低下作用による二次感染阻止効果が高いため、散布後のいもち病のまん延を抑える。このため、広域に使用される航空防除では、防除効果の持続性はより増強される。
- 稲体に速やかに吸収、移行されるため、安定した防除効果を示し降雨などの影響を受けにくく残効性が高い。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 混用可能が確かめられているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 野菜類の幼苗及びびなし（二十世紀、幸水、新水など）には薬害を生ずる恐れがあるので、かからないように注意する。
- 散布薬剤の飛散によって自動車の塗装等に被害を与える恐れがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 水源池、飲料用水等に飛散流入しないように十分注意する。
- 貯蔵中に分離することがあるが、振れば元の状態にもどるので、使用に際し容器をよく振ってから調製する。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗い、眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
 - (c)顔、手足等の皮膚の露出部を石けんでよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病	原液	150～200 ml	収穫7日 前まで	3回以内	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、 本田では3回以内)
		4～5倍	800 ml			
		15～20倍	3 l			

【取扱いメーカー】

クマイイ化学，住友化学，日本農薬，サンケイ化学

(殺菌剤)

(トリシクラゾール・バリダマイシン水和剤)

毒性：劇物

ビームバリダゾール

性状：淡黄赤色粘稠水和性懸濁液体

成分：トリシクラゾール……………20.0%
バリダマイシンA…………… 5.0%

【特 長】

- 長期間の残効を有する浸透持続型いもち剤ビームと紋枯病に対するすぐれた進展阻止効果とその持続性をもつバリダシンの混合剤である。
- 効果の持続性、耐雨性にすぐれる剤同士の混合剤であり、いもち病・紋枯病の同時防除剤として安定した効果を示す。

【注意事項】

- 長時間貯蔵しておくとは分離するので使用の際はよく振って均一の状態にもどしてから所定量をとり出す。
- きく（秀芳の力等）には薬害を生ずる恐れがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 混用可能が確かめられているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 野菜類の幼苗及びびなし（二十世紀、幸水、新水など）には薬害を生ずる恐れがあるので、付近にある場合にはかからないように注意する。
- 各散布機種種の散布基準に従って実施する。
- 微量散布及び少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布薬剤の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 水源池、飲料用水、養魚田等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 医薬品外劇物。取扱いには十分注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせる。使用中に身体に異常を感じた場合には医師の手当てを受ける。
- 眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受ける。（刺激性）
- 散布中や薬液または散布装置の取り扱いの際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して直接薬液にふれないように注意し、誤ってつけた場合は直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - (b)使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管する。
 - (c)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
 - (d)顔、手足等の皮ふの露出部を石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣類等は他のものと分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希 積 倍 数	10アール 当 り 散 布 液 量	使用時期	本 剤 の 使用回数	トリシクラゾール を含む農薬の 総使用回数	バリダマイシン を含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 紋枯病	3倍	300 ml	収穫14日 前まで	3回以内	4回以内 (育苗箱への 処理は1回 以内、本田 では3回以 内)	6回以内 (育苗箱灌 注は1回以 内、本田で は5回以 内)
		8倍	800 ml				
		30倍	3 l				

【取扱いメーカー】

協友アグリ、住友化学、サンケイ化学

(殺菌剤)

(トリシクラゾール・フェリムゾン水和剤)

毒性：普通物

ノンブラスフロアブル

性状：淡黄赤色水和性粘稠懸濁液体

成分：トリシクラゾール…………… 8.0%
フェリムゾン……………15.0%

【特 長】

- 有効成分フェリムゾンは、いもち病菌、ごま葉枯病菌の他、穂枯れ性病害起因菌に幅広く高い活性を示します。
- トリシクラゾールは長期間にわたりいもち病菌の浸入阻止効果を発揮し、胞子の形成・飛散を阻害する事で二次感染阻止効果が得られます。
- ノンブラスは以上2成分の混合剤で、散布後すみやかに稲体内に浸透するので、降雨による効果の低下が少ない強力な耐雨性を発揮し、また他剤耐性菌にも安定した効果を示します。

【注意事項】

- なし（二十世紀，幸水，新水等），野菜類の幼苗にはかからないように注意する。
たばこ，けいとう，幼植物の大豆，小豆，いんげんにはかからないように注意する。
- 使用量にあわせ薬液を調製し，使いきる。
- 使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- 散布液調製後はできるだけすみやかに散布する。
- 各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 微量散布の場合は，微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中，薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカートを塗装等へ影響を与えないよう，散布地域の選定に注意し，散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 作業終了後は次の事項を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず，安全な場所に廃棄する。
 - (b)機体の散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 水源池，飲料用水等に本剤が飛散・流入しないように十分注意する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので，眼に入った場合は直ちに水洗し，眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性が有るので，皮膚に付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は防護マスク，手袋，長ズボン・長袖の作業衣など着用する。作業後は手足・顔など石けんでよく洗い，洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希 釈 数	10アール 当 り 散布液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	原液	120 ml	収穫7日 前まで	2回以内	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内，本田では3回以内)	2回以内
		8倍	800 ml				
		30倍	3 ℓ				

【取扱いメーカー】

協友アグリ，サンケイ化学

(殺菌剤)

(バリダマイシン液剤)

毒性：普通物

バリダシンエアー

性状：緑色澄明液体

成分：バリダマイシンA…………… 5.0%

【特 長】

○紋枯病にすぐれた進展阻止力とその持続性を有するバリダシンを航空防除専用剤として製剤したものです。

【注意事項】

- きく（秀芳の力など）には薬害を生ずる恐れがあるので、付近にある場合にはかからないように注意する。
- 混用可能が確認されているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。なお、微量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布液の飛散による他の分野への影響は現在まで認められていないが、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
 - (b)使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管する。
 - (c)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	バリダマイシン を含む農薬の 総使用回数
稲	紋枯病	原液	120～150 ml	収穫14日 前まで	5回以内	6回以内 (育苗箱灌注では1回以内、本田では5回以内)
		7～8倍	800 ml			
		25～35倍	3 l			

【取扱いメーカー】

北興化学，住友化学，サンケイ化学

(殺菌剤)

(ピロキロン粒剤)

毒性：普通物

コラトップ粒剤24

性状：淡褐色細粒

成分：ピロキロン……………24.0%

【特 長】

- 葉いもち病、穂いもち病に安定した効果を示します。
- 散布後速やかに稲に吸収され、効果の発現が速いです。
- 10 a 当たりの散布量が500 g なので、一度に散布できる面積が大きく、省力的です。

【注意事項】

- 本剤は航空防除専用剤のため、航空防除用粒剤散布装置によって散布する。
散布は散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
- 散布に当っては、田水深を3 cm以上にし、散布後は少なくとも7日間は湛水状態を保ち、落水、かけ流しはしない。なお漏水の激しい水田では使用をさける。
- 葉いもちに対する初発時の散布は多発の場合、効果が劣ることがあるので、散布時期に注意する。
- 豆、野菜類には薬害を生ずるおそれがあるので、付近にある場合には、かからないように注意して散布する。
- 散布薬剤の飛散によって動植物等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分注意する。
- 散布薬剤が水源池、養殖池等に飛散、流入しないように十分注意する。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

【適用病害及び使用方法】

作物名	適用病害名	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	ピロキロンを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病	0.5 kg	葉いもちに対しては 初発10日前～初発時 穂いもちに対しては 出穂30日前～5日前 まで	2回以内	3回以内 (直播での は種時又は移植 時までの処理 は1回以内、 本田では2回 以内)

【取扱いメーカー】

シンジェンタ・ジャパン

(殺菌剤)

(フェリムゾン・フサライド水和剤)

毒性：普通物

ブラシンゾル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：フェリムゾン……………20.0%
フサライド……………15.0%

【特 長】

- 治療効果に優れるフェリムゾンと、予防効果に定評のあるフサライドの混合剤で、散布適期幅の広い、航空防除専用剤である。
- フェリムゾンは新しいタイプの化合物で、他剤のいもち病耐性菌にも有効である。
- フェリムゾンは稲体内に浸透し、いもち病菌の菌糸の伸長を抑制し、病斑形成、胞子形成を阻止する。

【注意事項】

- 混用可能が確認されているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- たばこ、けいとう、幼植物の大豆、小豆、いんげんまめには薬害を生ずる恐れがあるので、付近にある場合には、かからないように注意する。
- 使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布する。
- 各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 微量散布及び少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 作業終了後は次の事項を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に適切に処理する。
 - (b)機体の散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散・流入しないように十分注意する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	フェリムゾン を含む農薬の 総使用回数	フサライド を含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病	原液	120 ml	収穫7日 前まで	2回以内	2回以内	3回以内
		8倍	800 ml				
		30倍	3 l				

【取扱いメーカー】

北興化学，住友化学，サンケイ化学

(殺菌剤)

(バリダマイシン・フェリムゾン
・フサライド水和剤)

毒性：普通物

ブラシンバリダゾル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：バリダマイシンA…………… 5.0%
フェリムゾン……………20.0%
フサライド……………15.0%

【特 長】

- いもち病に対して治療効果に優れるフェリムゾンと、予防効果に定評のあるフサライド、紋枯病に優れた進展阻止力とその持続性を有するバリダマイシンを配合した、航空防除専用剤である。
- いもち病、紋枯病に対し散布適期幅が広く優れた同時防除剤である。

【注意事項】

- 混用可能が確認されているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- たばこ、けいとう、幼植物の大豆、小豆及びいんげんまめにはかからないように注意する。
- きく（秀芳の力など）にはかからないように注意する。
- 使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカートを塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 作業終了後は次の事項を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - (b)機体の散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散・流入しないように十分注意する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	バリダマイシン を含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 紋枯病	30倍	3 ℓ	収穫14日 前まで	2回以内	6回以内 (育苗箱灌注 は1回以内、 本田では5回 以内)

フェリムゾン を含む農薬の 総使用回数	フサライド を含む農薬の 総使用回数
2回以内	3回以内

【取扱いメーカー】

北興化学，住友化学，サンケイ化学

(殺菌剤)

(フサライド水和剤)

毒性：普通物

ラブサイドフロアブル

性状：白色水和性粘稠懸濁液体

成分：フサライド……………20.0%

【特 長】

- いもち病菌の菌糸侵入阻止作用が強く、高い予防効果がある。また、二次感染阻止作用により病勢の拡大を抑制する。
- 早めの防除で葉いもち、穂いもちに優れた効果を発揮する。
- 耐雨性、残効性に優れている。
- 耐性菌の出現し難い薬剤。
- 人畜、水産動植物、蚕、他作物などへの影響はほとんどない。

【注意事項】

- 使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- 散布液調製後は速やかに使用する。
- 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わない。
- 他作物に薬害を生ずる恐れは少ないが、散布区域内に栽培されている作物等に留意する。
(対象外作物に対する薬害の項参照)
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 微量及び少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行う。
- 自動車の塗装等に被害を生ずる恐れがあるので、散布区域内の諸物件に十分注意する。
- 散布終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
 - (b)使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
 - (c)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布等の作業の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当 り 散 布 液 量	使用時期	本剤の使用回数	フサライドを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病	原液	120～150 ml	収穫7日 前まで	3回以内	3回以内
		5～8倍	800 ml			
		30倍	3～4 l			

【取扱いメーカー】

北興化学，協友アグリ

(殺菌剤)

(フルトラニル水和剤)

毒性：普通物

モンカットフロアブル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：フルトラニル……………20.0%

【特 長】

- 紋枯病に対し治療・予防の両効果を発揮し、散布適期幅が広い。
- 残効性、浸透移行性を有し安定した防除効果を示す。

【注意事項】

- 希釈して使用する場合は、使用量に合わせて薬液を調製し、使いきる。また、原液で使用する場合は、使用量に合わせて秤量し、使いきる。
- 散布は各散布基準に従って実施する。
- 混用可能が確認されている農薬以外は原則として、混用は行わない。
- 微量散布および少量散布の場合は微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他の散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬剤の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 散布終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
 - (b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 蚕に対して影響があるので周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので養魚田では使用しない。
- 河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意する。
- 水源地、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	フルトラニル を含む農薬の 総使用回数
稲	紋枯病	原液	120 ml	収穫14日 前まで	4回以内	4回以内
		8倍	800 ml			
		30倍	3 l			

【取扱いメーカー】

日本農薬，日産化学

(殺菌剤)

(フサライド・フルトラニル水和剤)

毒性：普通物

モンカットラブサイド20フロアブル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：フサライド……………20.0%
フルトラニル……………20.0%

【特 長】

- 浸透性を有し、稲紋枯病に対し予防・治療効果を有するモンカットと、いもち病に定評あるラブサイドを配剤した、いもち病・紋枯病の同時防除剤である。
- 航空防除の利点を最も能率的・経済的に生かした微量散布が出来る。

【注意事項】

- 希釈して使用する場合は、使用量に合わせて薬液を調製し、使いきる。また、原液で使用する場合は、使用量に合わせて秤量し、使いきる。
- 貯蔵中に沈殿を生じることがあるので、使用直前に容器をよく振って均一な状態にする。
- 散布は各散布基準に従って実施する。
- 混用可能が確認されている農薬以外は原則として、混用は行わない。
- 微量散布および少量散布の場合は微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他の散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬剤の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等への影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、なお、境界区域の諸物件に十分留意する。
- 散布終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
 - (b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処置する。
- 蚕に対して影響があるので周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので養魚田では使用しない。
- 河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意する。
- 水源地、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	フサライドを 含む農薬の 総使用回数	フルトラニル 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病	原液	150 ml	収穫14日 前まで	3回以内	3回以内	4回以内
	紋枯病	6倍	800 ml				

【取扱いメーカー】

日本農薬

(殺菌剤)

(プロベナゾール粒剤)

毒性：普通物

オリゼメート粒剤 20

性状：淡褐色細粒

成分：プロベナゾール……………20.0%

【特 長】

- 植物の病害抵抗性を誘導し、いもち病に対して高い防除効果を示す殺菌剤である。
- 水面施用剤なので散布時の降雨の影響が少なく、安定した効果が期待できる。

【注意事項】

- 本剤は湛水状態（湛水深3～5cm）で播きむらのないように散布し、散布後少なくとも4～5日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意し、また散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 砂質土など漏水の多い水田での使用はさける。
- 水源地、飲料用水などに本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 薬剤の飛散によって他の動植物などへ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 散布中や薬剤または散布装置の取扱いには、農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用し、保護クリームを使用する。作業後は直ちに顔、手足などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物との接触をさける。
- 散布終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に破棄する。
 - (b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 本剤は予防的に散布した場合に有効である。葉いもち防除の使用適期間は、初発の7～10日前であるので、発生予察情報に注意して時期を失ないように散布する。穂いもち防除の使用適期は、出穂の3～4週間前である。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。また、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意し、散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	プロベナゾールを含む農薬 の総使用回数
稲	いもち病	1 kg	収穫14日前まで	2回以内	2回以内 (移植時までの処理は1回 以内)

【取扱いメーカー】

北興化学，三井化学C&L

(殺菌剤)

(バリダマイシン・フェリムゾン・フサライド水和剤)

毒性：普通物

ブラシンバリダフロアブル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：バリダマイシンA…………… 5.0%
フェリムゾン……………15.0%
フサライド……………15.0%

【特 長】

- いもち病に対して治療効果に優れるフェリムゾンと、予防効果に定評のあるフサライド、紋枯病に優れた進展阻止力とその持続性を有するバリダマイシンを配合した殺菌剤である。
- いもち病、紋枯病に対し散布適期幅が広く優れた同時防除剤である。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 本剤は長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布する。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守る。
 - ①各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
 - ②少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
 - ③無人航空機による散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - ④散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - ⑤散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意する。
 - ⑥作業終了後は次の事項を守る。
 - 1) 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
 - 2) 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
 - ⑦水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。
- 本剤はいもち病防除を主体とし、その他の病害との同時防除に使用できるが、多発時の内穎褐変病、もみ枯細菌病のみの防除には効果が劣ることがあるので注意する。
- たばこ、けいとう及びだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- きく（秀芳の力等）には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病虫害名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(カーブラリア菌) 疑似紋枯症	30倍	3 l /10a	収穫14日 前まで	2回以内	空中散布
	(赤色菌核病菌) 褐色菌核病菌 褐色紋枯病菌) 内穎褐変病 もみ枯細菌病	8倍	800 ml/10a			

バリダマイシン を含む農薬の 総使用回数	フェリムゾン を含む農薬の 総使用回数	フサライド を含む農薬の 総使用回数
6回以内 (育苗箱灌注は 1回以内, 本田 では5回以内)	2回以内	3回以内

【取扱いメーカー】

北興化学, 住友化学, 協友アグリ, サンケイ化学

(殺菌剤)

(フェリムゾン・フサライド水和剤)

毒性：普通物

ブラシンフロアブル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：フェリムゾン……………15.0%
フサライド……………15.0%

【特 長】

- 治療効果に優れるフェリムゾンと、予防効果に定評のあるフサライドの混合剤で、散布適期幅の広い薬剤である。
- フェリムゾンは稲体内に浸透し、いもち病菌の菌糸の伸長を抑制し、病斑形成、孢子形成を阻止する。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布する。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守る。
 - ①各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
 - ②少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
 - ③無人航空機による散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - ④散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - ⑤散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
 - ⑥作業終了後は次の事項を守ること。
 - 1) 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - 2) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
 - ⑦水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意する。
- 褐条病を対象とした採種圃場での散布は、翌年の育苗箱中での本病の発生抑制を目的としているが、効果がやや劣ることがあるので、種子消毒処理を併用することが好ましい。
- 本剤はいもち病防除を主体とし、その他の病害との同時防除に使用できるが、多発時の内穎褐変病の防除には効果が劣ることがあるので注意する。
- たばこ、けいとう及びだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲	いもち病 ごま葉枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 褐条病 変色米 (カーブラリア菌) (エピコッカム菌) (アルタナリア菌)	30倍	3 ℓ/10a	収穫7日 前まで	2回以内	空中散布
	稲こうじ病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 墨黒穂病	8倍	800 ml/10a			

フェリムゾン を含む農薬の 総使用回数	フサライド を含む農薬の 総使用回数
2回以内	3回以内

【取扱いメーカー】

北興化学, 住友化学, 協友アグリ, サンケイ化学, ホクサン

(殺菌剤)

(ペンシクロン水和剤)

毒性：普通物

モンセレンフロアブル

性状：白色水和性粘稠懸濁液体

成分：ペンシクロン……………20.0%

【特 長】

- 水稲の紋枯病に対し、菌糸侵入阻止、病斑進展阻止力があり、効果の持続性に優れる。特に上位葉への進展阻止効果が認められる。
- 液剤、液剤少量、微量散布に幅広く使用出来る。
- 耐雨性や残効性が優れ、雨の多い時期においても効果が期待出来る。
- 防除の適期幅が広く、航空防除剤としての安定効果が期待出来る。
- 蚕やミツバチに対する影響がほとんどがなく、安心して使用出来る。

【注意事項】

- 使用前によく振ってから使用する。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 散布中に薬液が漏れることがないように、機体の散布用配管など散布装置の十分な点検を行う。
- 散布液の飛散によって他の動植物及び自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 作業終了後は次の事項を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に破棄する。
 - (b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布等の作業の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣など着用する。作業後は直ちに手足、顔など石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤及びペンシクロンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病	原液	100～120 ml	収穫21日 前まで	4回以内
		8～10倍	800 ml		
		30～40倍	3 l		

【取扱いメーカー】

協友アグリ

(殺菌剤)

(メプロニル水和剤)

毒性：普通物

バシタックゾル

性状：類白色水和性粘稠液体

成分：メプロニル……………40.0%

【特 長】

- 稲紋枯病に対し治療効果が高く、病斑の進展を強く防止する。また、予防効果もすぐれている。
- 稲上部に付着した薬剤が雨、露滴などによって、下部の株元まで達し、すぐれた防除効果を発揮する。
- 耐雨性・耐露性があり持続効果が長いので防除効果が安定する。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 混用可能が確かめられているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 貯蔵中に沈降することがあるが、振れば元の状態にもどるので、使用に際し容器をよく振ってから調製する。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
- 蚕に対して毒性があるので、桑葉にかからないように注意して散布する。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意する。
- 水源池、飲料用水、養殖池、養魚田等に飛散、流入しないように十分注意する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。また河川、養殖池等に飛散しないように十分注意する。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤およびメプロ ニルを含む農薬の 総使用回数
稲	紋枯病	6～8倍	800 ml	収穫14日	3回以内
		25～30倍	3 l	前まで	

【取扱いメーカー】

クミアイ化学

2. 殺 虫 剤

No.	農 薬 品 名	有 効 成 分 (%)	頁
1	キラップフロアブル	エチプロール 10.0	34
2	トレボンエアー	エトフェンプロックス 10.0	35
3	トレボンスカイMC	エトフェンプロックス 20.0	37
4	ダントツフロアブル	クロチアニジン 20.0	39
5	スタークル液剤10/スタークルメイト液剤10	ジノテフラン 10.0	40
6	エコワン3フロアブル	チアクロプリド 3.0	42
7	スミチオン水和剤40	ME P 40.0	44
8	スミチオン乳剤	ME P 50.0	45
9	オーケストラフロアブル	ベンズピリモキサシ 10.0	47
10	スミパイン乳剤	ME P 80.0	49
11	スミパインMC	ME P 23.5	51

(殺虫剤)

(エチプロール水和剤)

毒性：普通物

キラップフロアブル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：エチプロール……………10.0%

【特 長】

- エチプロールのフロアブル剤。斑点米カメムシに優れた効果を示す。
- 害虫の神経伝達物質による神経伝達を阻害し、作物への加害を阻止する。

【注意事項】

- 混用可能が確認されているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ること。
- 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
- 散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- 散布薬液の飛散によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散・流入しないように十分注意すること。
- 散布終了後は次の項目を守ること。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。
 - (b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理すること。
- 蚕に影響があるので桑にかからないように注意すること。桑にかかった場合は25日以上経過してから給桑すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - (a)ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにすること。空中散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - (b)受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用を避けること。
 - (c)養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意し、更に空中散布に使用する場合には都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、容器は圃場などに放置せず適切に処理すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は地区農業技術指導機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。

【適用害虫および使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	エチプロール を含む農薬の 総使用回数
稲	ウンカ類 カメムシ類	8～16倍	800 ml	収穫14日 前まで	2回以内	2回以内 (は種時(直播) 又は移植時までの 処理は1回以内)

【取扱いメーカー】

バイエルクロップサイエンス、北興化学、ホクサン

(殺虫剤)

(エトフェンプロックス乳剤)

毒性：普通物

トレボンエアー

性状：類白色粘稠乳濁液体

成分：エトフェンプロックス……………10.0%

【特 長】

- 本剤はカメムシ類等，稲の主要害虫に速効的な効果を示します。
- 本剤は既存の薬剤感受性低下ウンカ類などの害虫に対して安定した効果を示します。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し，使い切る。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 少量散布（8倍液）の際には，微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中，薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカートタンの塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し，散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 蚕に対して長期間強い毒性があるので，薬液の飛散により桑の茎葉を汚染することのないように桑園のある地帯では使用しない。なお，実施にあたっては事前に蚕業関係者と安全対策について十分協議する。
- 散布器具，作業衣などは桑用と必ず区別する。
- ミツバチに対して影響があるので，以下のことに注意する。
 - (a)ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しない。
 - (b)関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して，周辺で養蜂が行われているかを確認し，養蜂が行われている場合は，関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し，ミツバチの危害防止に努めること。
- 作業終了後は次の事項を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず，適切に処理する。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 本剤の使用に当たっては，使用量，使用時期，使用方法を誤らないように注意し，病虫害防除所等関係機関の指導を受ける。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は，使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお，病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ，直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し，眼科医の手当を受ける。
- 水産動植物（甲殻類，冷水魚）に影響を及ぼすので，河川，養殖池等に飛散，流入しないよう注意して使用する。養殖池等周辺での使用は避ける。なお，比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので十分注意する。空中散布で使用する場合は，飛散しないよう特に注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い，使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は，河川等に流さない。また，空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ，なるべく低温な場所に密栓して保管する。

【適用害虫および使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	エトフェンブ ロックスを含む 農薬の総使用回数
稲	イナゴ類 ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ	8倍	800 ml	収穫14日 前まで	3回以内	3回以内
	イナゴ類 ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ	30倍	3 l			

【取扱いメーカー】

クミアイ化学, サンケイ化学, 協友アグリ, ホクサン, 三井化学C&L

(殺虫剤)

(エトフェンプロックスマイクロカプセル剤)

毒性：普通物

トレボンスカイMC

性状：白色水和性粘稠懸濁液体

成分：エトフェンプロックス……………20.0%

【特 長】

- 本剤はカメムシ類等，稲の主要害虫に速効的な効果を示します。
- 本剤は既存の薬剤感受性低下ウンカ類などの害虫に対して安定した効果を示します。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し，使いきる。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 少量散布には，微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 使用前によく振ってから使用する。
- 散布中，薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって他の動植物及び自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し，散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 蚕に対して長期間強い毒性があるので，薬液の飛散により桑の茎葉を汚染することのないように桑園のある地帯では使用しない。なお，実施にあたっては事前に蚕業関係者と安全対策について十分協議する。
- 散布器具，作業衣などは桑用と必ず区別する。
- ミツバチに対して影響があるので，以下のことに注意する。
 - (a)ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しない。
 - (b)関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して，周辺で養蜂が行われているかを確認し，養蜂が行われている場合は，関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し，ミツバチの危害防止に努めること。
- 作業終了後は次の事項を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず，適切に処理する。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 散布液が水槽，池，河川などに入らないように注意する。
- 本剤の使用に当たっては，使用量，使用時期，使用方法を誤らないように注意し，病虫害防除所等関係機関の指導を受ける。
- 誤飲などのないように注意する。
- 作業後は手足，顔などを石けんでよく洗い，洗眼・うがいをする。
- 水産動植物（甲殻類，冷水魚）に影響を及ぼすので，河川，養殖池等に飛散，流入しないよう注意して使用する。養殖池等周辺での使用は避ける。なお，比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので十分注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い，使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は，河川等に流さない。また，空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ，なるべく低温な場所に密栓して保管する。

【適用害虫および使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	エトフェンプ ロックスを含む 農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ イナゴ類	16倍	800 ml	収穫14日 前まで	3回以内	3回以内
	ウンカ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ	60倍	3 l			

【取扱いメーカー】

三井化学C&L

(殺虫剤)

(クロチアニジン水和剤)

毒性：普通物

ダントツフロアブル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：クロチアニジン……………20.0%

【特長】

- 新しいタイプのネオニコチノイド系殺虫剤です。有機リン剤・カーバメイト剤・合成ピレスロイド剤など既存の殺虫剤に感受性が低下した害虫にも安定した効果を示します。
- ウンカ類、カメムシ類に速効的な効果を示し、浸透移行性があり、残効性も優れています。
- 人畜毒性および魚毒性が低く安全性に優れています。また、周辺作物に対する影響も少ない薬剤です。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤は長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器を良く振って均一な状態に戻してから所定量を取り出すこと。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - (a)ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - (b)関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- マルハナバチに影響を及ぼす恐れがあるので注意すること。
- 各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
- 少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置に十分な点検を行うこと。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないように、散布地域の選定に注意し、散布区域の諸物件に十分留意すること。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
- 作業終了後は次の項目を守ること
 - (a)使用後の空容器は放置せず安全な場所に廃棄すること。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。

【適用害虫および使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の使用回数	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 カメムシ類	24倍	800 ml	収穫7日 前まで	3回以内	4回以内 (直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
	ツマグロヨコバイ ウンカ類 カメムシ類	90倍	3 l			

【取扱いメーカー】

住友化学，協友アグリ，サンケイ化学

(殺虫剤)

(ジノテフラン液剤)

毒性：普通物

スタークル液剤10

性状：淡黄色澄明水溶性液体

スタークルメイト液剤10

成分：ジノテフラン……………10.0%

【特 長】

- カメムシ類・ウンカ類に高い殺虫効果を示します。
- 高い殺虫効果と優れた浸透移行性により、長期間の残効性を示します。
- カメムシ類には、殺虫効果と吸汁阻害効果で斑点米被害を効率的に防ぎます。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 少量散布の際には、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車やカラートタンの塗料等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 作業終了後は次の事項を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、適切に処理する。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - (a)ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しない。
 - (b)関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管する。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。
- 水産動植物に有毒な農薬については、その旨
 - (a)水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
 - (b)空中散布又は無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
 - (c)散布後は水管理に注意すること。
 - (d)使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

【適用害虫および使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	ジノテフラン を含む農薬の 総使用回数
稲	カメムシ類 ウンカ類	8倍	800 ml	収穫7日 前まで	3回以内	4回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は合 計1回以内、本田 での散布、空中散 布、無人航空機散 布は合計3回以内)
		30倍	3 l			
だいず	カメムシ類 フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ	8倍	800 ml	収穫7日 前まで	2回以内	3回以内 (は種時の土壌混 和は1回以内、散 布、空中散布、無 人航空機散布は合 計2回以内)
えだまめ	カメムシ類 フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ	8倍	800 ml	収穫7日 前まで	2回以内	3回以内 (は種時の土壌混 和は1回以内、散 布、空中散布、無 人航空機散布は合 計2回以内)

【取扱いメーカー】

スタークル液剤10 : クミアイ化学, サンケイ化学, 北興化学

スタークルメイト液剤10 : 三井化学C&L

(殺虫剤)

(チアクロプリド水和剤)

毒性：普通物

エコワン3フロアブル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

成分：チアクロプリド…………… 3.0%

【特 長】

- 有効成分 チアクロプリドがマツノマダラカミキリ成虫の後食活動を低薬量で長期間予防します。
- 人や鳥獣に対する安全性が高い薬剤です。
- 薬剤には不快臭・刺激臭がありませんので、薬剤調製時や散布時に作業員や周辺の住民に不快感を与える心配はありません。
- 通常の使用方法では、スギ、ヒノキ等の樹木や芝、野菜・果実等の農作物に薬害の心配はありません。（散布後の天候条件や作物品種によって薬害が生じる可能性があります）
- ミツバチやマルハナバチ等の有用昆虫への影響が少ない薬剤です。
- 有効成分の蒸気圧は低く、土壌や河川に落下しても速やかに分解されますので、環境に対する負荷が少ない薬剤です。
- 塗装面や墓石の表面に薬剤が付着しても、速やかに洗浄すれば着色や退色の心配はありません。（塗装により、付着した薬剤が落ちにくい場合があるので、付着後は速やかに洗浄してください）
- 有機溶媒を使用せず、水をベースとしたフロアブル製剤ですので、火災の危険性はありませ

【注意事項】

- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振る。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 本剤によるマツノマダラカミキリ成虫防除は後食防止を目的とするものであり、本剤を空中散布として使用する場合は、以下の項目を守る。
 - (a)20倍または40倍希釈液で使用する場合、成虫発生初期及び発生最盛期直前に時期を失しないように樹冠部全面にむらなく散布する。
 - (b)7.5倍希釈液で使用する場合、成虫発生直前又は発生初期に時期を失しないように樹冠部全面にむらなく散布する。
 - (c)散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
 - (d)散布液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行なう。
 - (e)散布液の飛散によって他の動植物に被害を与えるおそれがあるので、散布区域の選定に注意し、境界領域内の諸物件にも十分留意する。なお実施に当たっては、事前に関係業者と安全対策について十分協議する。
 - (f)使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管する。
 - (g)機体の散布装置の洗浄水は河川等に流さない。
- 降雨前後の散布は殺虫効果が劣るのでさける。
- ネクタリン及びすももでは品種により葉に薬害（軽い穴あき症状）を生ずることがあるので、付近にある場合はかからないように注意する。
- 本剤は蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場所では使用しない。
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意する。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器等は環境及び水産動植物に影響を与えないように適切に処理する。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、林業技術者等の指導を受けることが望ましい。
- 誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 街路、公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札を立て、散布中および散布後（最小限その当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜などに注意する。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管する。
- これらの記載内容は、エコワン3フロアブルの空中散布（7.5倍、20倍、40倍希釈液）での特長、注意事項等を抜粋したものである。

【適用害虫および使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	1ヘクタール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	チアクロプリド を含む農薬の 総使用回数
まっ (生立木)	マツノマダラ カミキリ成虫	20倍	30 ℓ	成虫発生初期 及び発生 最盛期直前	3回以内	3回以内
		40倍	60 ℓ			
		7.5倍	30 ℓ	成虫発生直 前又は発生 初期		

【取扱いメーカー】

井筒屋化学

【原体メーカー】

バイエルクロップサイエンス

(殺虫剤)

(ME P水和剤)

毒性：普通物

スミチオン水和剤 40

性状：淡褐色水和性粉末
63 μ m以下

成分：ME P……………40.0%

【特 長】

- 低毒性の有機リン剤で広範囲の害虫に殺虫力を示します。植物体への浸達性があるため、食入しているニカメイチュウに対しても殺虫力が強い。

【注意事項】

- 混用可能が確認されているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 散布は各散布機種の散布基準に従って実施する。
- 散布液は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意する。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - (a)ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - (b)受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - (c)関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- あぶらな科作物は薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意する。
- りんごの旭種およびその近縁種、ももの初期散布（5～6月）には薬害を生ずることもあるので注意する。
- なしの早生赤種には薬害を生ずるので使用を避ける。
- 散布の際は、マスク・手袋を着用する。作業後は顔・手足などの皮膚の露出部を石けんでよく洗い、うがいをする。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないこと。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 空中散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。
- 散布後は水管理に注意すること。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

【適用害虫および使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の使用回数
稲	ニカメイチュウ 第1世代	40倍	3 0	収穫21日 前まで	2回以内

M E P を 含む農薬の 総使用回数
3回以内 (種もみへの処理は1回以 内、育苗箱散布は1回以 内、本田では2回以内)

【取扱いメーカー】

協友アグリ、住友化学

(殺虫剤)

(ME P乳剤)

毒性：普通物

スミチオン乳剤

成分：ME P……………50.0%

性状：黄褐色可乳化油状液体
黄赤色可乳化油状液体（ホクサン品）
黄色澄明可乳化油状液体（協友アグリ品）

危険物表示：第4類・第2石油類

【特 長】

- 有機リン剤で広範囲の害虫に殺虫力を示す。植物体への浸達性があるため、食入しているニカメイチュウに対しても殺虫力がある。
- 種々のカメムシ類（斑点米）に対して高い効果がある。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し使いきる。
- 混用可能が確かめられているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 散布薬液の飛散によって他の動植物（特にあぶらな科作物、桑、さといも、ソルゴ等の農作物、養蚕、養蜂）、自動車やカラートタンの塗装等および大理石、御影石に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し散布区域の諸物件に十分留意する。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 水源池、飲料用水、養殖池等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 散布終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
 - (b)使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
 - (c)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 散布は散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
- 少量散布（8倍液）の散布には、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行う。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - (a)ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しない。
 - (b)受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - (c)養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡する等周辺への飛散に注意し、ミツバチの危害防止に努める。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 空中散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

【適用害虫および使用方法】

(その1)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	M E P を 含む農薬の 総使用回数
稲	ニカメイチュウ カメムシ類	8倍	800 ml	収穫21日 前まで	2回以内	3回以内 (種もみへの 処理は1回以 内, 育苗箱散 布は1回以 内, 本田では 2回以内)
	ニカメイチュウ ヒメトビウンカ カメムシ類 イネハモグリバエ イネヒメハモグリバエ フタオビコヤガ イネツトムシ	30倍	3 l			

【取扱いメーカー】

日産化学, 北興化学, 協友アグリ, 日本農薬, サンケイ化学, 住友化学,
クミアイ化学, ホクサン

【適用害虫および使用方法】

(その2)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	M E P を 含む農薬の 総使用回数
麦類 (大麦, 小 麦を除く)	ムギアカタマバエ	30倍	3 l	収穫14日 前まで	1回	1回
	ヒメトビウンカ	30倍	3 l			
		8倍	800 ml			
大麦 小麦	ムギアカタマバエ	30倍	3 l	収穫7日 前まで	1回	1回
	ヒメトビウンカ	30倍	3 l			
		8倍	800 ml			
くり	モモノゴマダ ラノメイガ	8倍	3 l	収穫14日 前まで	4回以内	4回以内(但 し, 樹幹処理 は1回以内)

【取扱いメーカー】

日産化学, 北興化学, 協友アグリ, 日本農薬, サンケイ化学, 住友化学, クミアイ化学,
ホクサン

【適用害虫および使用方法】

(その3)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤及びMEP を含む農薬の 総使用回数
だいず	マメシクイガ ダイズサヤタマバエ シロイチモジマダラメイガ マメヒメサヤムシガ カメムシ類	20倍	3 l	収穫21日 前まで	4回以内

【取扱いメーカー】

北興化学, 協友アグリ, 日本農薬, 住友化学, ホクサン, サンケイ化学

【適用害虫および使用方法】

(その4)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤及びMEP を含む農薬の 総使用回数
さとう きび	カンシャコバネナガカメムシ	25倍	6 l	収穫45日 前まで	4回以内

【取扱いメーカー】

サンケイ化学

(殺虫剤)

(ベンズピリモキサン水和剤)

毒性：普通物

オーケストラフロアブル

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

消防法：—

成分：ベンズピリモキサン……………10.0%

有効期限：

包装規格：

【特 長】

*トビイロウンカをはじめとするウンカ類に安定した効果を示します。

*有効成分ベンズピリモキサン（BPX）は新規作用性を有し、既存IGR剤と異なる作用性で幼虫の脱皮時に効果を発現します。また既存剤抵抗性個体群にも高い効果を示します。

*ミツバチやクモ、アメンボなどの天敵・有用昆虫への影響が小さいです。

【注意事項】

- 本剤は成虫を直接殺す作用がないので、幼虫主体の時期に散布するのが望ましい。また、その場合、薬剤散布後も幼虫は直ちに死亡せず、死亡までに数日を要するので十分留意する。
- 成虫の防除を必要とする場合には、成虫に有効な薬剤と組み合わせて使用する。
- 本剤を希釈倍数200倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用する。
- 空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守る。
 - 1) 散布液調製後はできるだけ速やかに散布する。
 - 2) 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - 3) 散布機種に適合した散布装置を使用する。
 - 4) 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - 5) 散布薬液の飛散によって動植物及び自動車の塗装やカーペットの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
 - 6) 散布終了後は次の事項を守る。
 - a. 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理する。
 - b. 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 空中散布に当たっては、散布後少なくとも翌日まで、落水及びかけ流しを行わない。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

【適用病害虫・雑草及び使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	ベンズピリモキサン を含む農薬の 総使用回数
稲	ウンカ類幼虫 ツマグロヨコバイ幼虫	8倍	0.8ℓ /10a	収穫7日 前まで	3回以内	3回以内
		30倍	3ℓ/10a			

【取扱いメーカー】

日本農薬，サンケイ化学

(殺虫剤)

(ME P乳剤)

毒性：普通物

スミパイン乳剤

性状：黄褐色可乳化油状液体

成分：ME P……………80.0%

危険物表示：第5類・ニトロ化合物含有物

【特 長】

- 本剤は、一定の薬量（2ℓ/ha, 1.667ℓ/ha）を希釈倍数の調節により、液剤散布（30ℓ/ha, 60ℓ/ha）、微量散布装置による液少散布（8ℓ/ha）、ガンノズル散布（240ℓ/ha等）、カーテン散布（60ℓ/ha）、微害初期防除対策の防除技術であるスポット散布など、現地の被害度合や周辺の環境などに合った適切な方法で防除ができ、取り扱いの便利さも向上させるなど、新製剤技術（溶剤を含まない）により創製した、松くい虫をはじめ林業害虫防除用のME P乳剤です。
- 樹皮浸透に優れ、樹皮や材部で安定であり防除の残効性が長く、防除目的以外のところでは太陽光線やいろいろな分解要素で、容易に分解し無毒化するなどは本剤の大きな特長です。

【注意事項】

- あぶらな科作物、桑、さといも、ソルゴ等に薬害が生じる場合があります、他の有機燐系殺虫剤と同様に、エビ等の甲殻類に毒性が強いこと、極く一部の特定のヒノキに薬剤感受性の高いものがあり、この個体のみで落葉枯損現象を示すこと。自動車の塗装の種類によって汚染すること、大理石、御影石が変色する可能性があることなどが知られ、養蚕、養蜂等とともに注意すべきことではありますが、危被害を未然に防ぐ安全対策を十分留意し、それぞれの状態に応じた適切な回避処置や散布を実施する。
- 水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 空中散布又は無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

【適用害虫および使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	1ヘクタール 当り 散布液量	使用時期	備 考
ま っ (生立木)	[松くい虫・予防] マツノマダラ カミキリ (成虫)	(液剤散布) 15～45倍	30～60 ℓ	成虫の発生 直前より発生最盛期直前	10アール当り 投下薬量は本剤 200mlとする。 ただし微害林では 130～200mlと する。
		(液少散布) 4～6倍	8 ℓ		
		(ガンノズル・林分散布) 60～180倍	120～ 240 ℓ		
		(ガンノズル・単木・1時期散布) 80～160倍	3 ℓ/本 (樹高10m)	成虫の発生 初期	単木処理
		(ガンノズル・単木・2時期散布) 150～200倍	3 ℓ/本 (樹高10m)	成虫の発生 初期及び発生最盛期直前	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	1ヘクタール 当り 散布液量	使用時期	備 考
ま っ (枯損 立木)	[松くい虫・駆除] マツノマダラ カミキリ (幼虫)	(ガンノズル・枯損立木 ・単木散布)	5 ℓ / 本 (樹高10m)	幼虫期 (秋 期)	単木処理
	[松くい虫・駆除] マツノマダラ カミキリ (材内生息虫)	80倍	5～10 ℓ / 本 (樹高10m)	成虫の発生 前 (春 期)	
樹木類	エダシヤク類	8倍	8 ℓ	幼 虫 期	(注) 参照
		30倍	30 ℓ		
	マイマイガ・ ドクガ類	(液剤散布) 50～100倍	30～60 ℓ	若令・中令 幼 虫 期	10アール当り 投下薬量は本剤 60mlとする。
		(液少散布) 8倍	8 ℓ	幼 虫 期	
ヒノキカワモグ リガ	30倍	60 ℓ	成虫の発生 直前～発生 最盛期直前 (6～7月)	(注) 参照	
ま っ	[松毛虫] マツカレハ	(液剤散布) 100倍	60 ℓ	幼 虫 期	
		(液少散布) 8倍	8 ℓ		
松 類	ハバチ類	(液剤散布) 100～200倍	30～60 ℓ	幼虫期	10アール当りの 投下薬量は本剤 30～60mlとする。
		(液少散布) 16倍	8 ℓ		
松 類	キクイムシ類	(ガンノズル・単木・ 加害予防散布) 40倍	5 ℓ / 本 (樹高10m)	成虫の 発生初期	単木処理
松 類 (風倒木)		(微量散布) 原液	7.5 ℓ	成虫の 発生直前	
松 類	ハマキガ類	(液剤散布) 50～100倍	60 ℓ	幼虫期	
	ミスジツマキリ エダシヤク	(液剤散布) 30倍	30 ℓ	幼虫期	10 a 当り投下薬 量は本剤 100ml とする。
		(液少散布) 8倍	8 ℓ		

【取扱いメーカー】

レインボー薬品, サンケイ化学

【原体メーカー】

住友化学

(殺虫剤)

(MEPマイクロカプセル剤)

毒性：普通物

スミパインMC

性状：淡黄色粘稠液体

成分：MEP……………23.5%

【特長】

- 有機リン剤のスミチオン原体を合成高分子膜で包んで微小のカプセルとし、水に懸濁させた製剤です。
- カプセル製剤にしたことにより自動車等の塗装汚染が軽減され、万一散布液がかかった場合にも、すみやかに洗えばしみができることはなくなりました。
- カプセル製剤にしたことにより、マツノマダラカミキリに対する有効期間が長くなり、1回の散布でスミパイン乳剤の場合の2回散布と同等の効果があることが確かめられています。これにより、散布労力が大巾に軽減されると共に梅雨時散布を避けることができます。

【注意事項】

- ひのきに対しては個体によって落葉、枯損にいたるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布する。
- 散布薬液の飛散によって他の動植物（特にあぶらな科作物、桑、さといも、ソルゴ等の農作物、養蚕、養蜂）および自動車やカラートタンの塗装、大理石や御影石等に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 水源地、飲料用水、養殖池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意する。
- 散布終了後は次の事項を守る。
 - (a)散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器、空き袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
 - (b)使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管する。
 - (c)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 水産動植物（魚類、甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 空中散布又は無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

【適用害虫および使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	1ヘクタール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	MEPを 含む農薬の 総使用回数
まつ (生立木)	マツノマダラ カミキリ (成虫)	2.5倍	30 ℓ	成虫	3回以内	6回以内
		5倍	60 ℓ			
		15倍	180 ℓ	発生初期		
		20倍	240 ℓ			

【取扱いメーカー】

レインボー薬品、サンケイ化学

【原体メーカー】

住友化学

3. 殺虫・殺菌剤

No.	農薬品名	有効成分(%)	頁
1	アミスタートレボンSE	エトフェンプロックス 10.0 アゾキシストロビン 8.0	53
2	ダブルカットトレボンフロアブル	エトフェンプロックス 10.0 カスガマイシン 1.2 トリシクラゾール 8.0	55
3	ビームエイトトレボンゾル	エトフェンプロックス 6.2 トリシクラゾール 8.0	57
4	ブラシンドアントツフロアブル	クロチアニジン 6.6 フェリムゾン 15.0 フサライド 15.0	59
5	ノンプラスダントツフロアブル	クロチアニジン 6.6 トリシクラゾール 8.0 フェリムゾン 15.0	61
6	ラブサイドダントツフロアブル	クロチアニジン 6.6 フサライド 20.0	63
7	ラブサイドスタークルフロアブル	ジノテフラン 5.0 フサライド 12.0	65
8	トップジンスタークルフロアブル	ジノテフラン 5.0 チオファネートメチル 20.0	66
9	ダブルカットエクシードフロアブル	スルホキサフロル 10.0 カスガマイシン 1.37 〔カスガマイシンとして〕 1.20 トリシクラゾール 8.0	68

(殺虫・殺菌剤)

(エトフェンプロックス・アゾキシストロビン水和剤)

毒性：普通物

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

アミスタートレボンSE

成分：エトフェンプロックス……………10.0%
アゾキシストロビン…………… 8.0%

【特 長】

- 一成分で、いもち病・紋枯病・穂枯れ（ごま葉枯病菌）他に有効なアゾキシストロビンとカメムシ類他に有効なエトフェンプロックスの混合剤で、これらの同時防除剤として最適です。
- 特に、出穂期から穂揃い期の散布で穂いもち病およびカメムシ類の防除のみならず、紋枯病に対しても高い効果を発揮します。
- 殺菌成分のアゾキシストロビンは予防効果、治療効果を兼ね備え、更に浸透移行性も示します。いもち病に対して分生子柄形成および分生孢子形成を強く阻害し、孢子の飛散を抑え、高い二次感染阻止効果が得られます。紋枯病に対しては水平進展および垂直進展を阻止します。また、適期幅が広く持続性に富みます。

【注意事項】

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - (a)ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - (b)養蜂が行われている地区では、都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- りんごの一部品種（あかね、旭、ガラ、きざし、モーリーズデリシャス、ラリタン等）では、葉にネクロシス（褐変）や落葉、または果実にさび果や落果を伴う品種特有の激しい薬害が生ずるので飛散（ドリフト）等により散布液がかからないよう十分に注意すること。また、本剤を使用した散布器具および希釈液タンクを用いて、りんごのこれらの品種には散布しないこと。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- 散布薬液の飛散により他の動植物および自動車やカラートタンの塗装に被害を与えないよう散布区域内の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- 水源池、飲料水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
- 散布終了後は次の事項を守ること。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。
 - (b)使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管すること。
 - (c)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので養魚田では使用しないこと。比較的 low 濃度でも魚が平衡失調等を起こすので、養殖池等周辺での使用は避けること。
- 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養魚池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- 散布後は河川、養殖池等流入しないよう水管理に注意すること。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

【適用病害虫および使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数
稲	いもち病 紋枯病	8倍	800 ml	収穫14日 前まで	3回以内
	コブノメイガ カメムシ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ	30倍	3 l		

エトフェンプロックスを含む 農薬の総使用回数	アゾキシストロピンを含む 農薬の総使用回数
3回以内	4回以内 (育苗箱散布は1 回以内, 本田では 3回以内)

【取扱いメーカー】

協友アグリ, サンケイ化学

(殺虫・殺菌剤)

(エトフェンプロックス・カスガマイシン
・トリシクラゾール水和剤)

毒性：普通物

性状：淡黄赤色水和性粘稠
懸濁液体

ダブルカットトレボンフロアブル

成分：エトフェンプロックス……………10.0%
カスガマイシンー塩酸塩…………… 1.37%
(カスガマイシンとして…………… 1.20%)
トリシクラゾール…………… 8.0%

【特 長】

- 治療効果に優れるカスガマイシンと、優れた予防効果と持続性、二次感染阻止作用を示すトリシクラゾール、水稻の主要害虫に即効性と残効性に優れたエトフェンプロックスの混合剤である。
- いもち病の生活環のほとんどの作用することから、散布適期幅が広い。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 使用前によく振ってから使用すること。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、絶対に桑葉にかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないこと。
 - ◆関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 杉（特に苗木）、れんこん及び大豆には薬害を生ずるおそれがあるのでかからないように注意して散布すること。
- 野菜類の幼苗及びなし（二十世紀、幸水、新水等）には、薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 本剤を空中散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 - (a)各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - (b)少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - (c)散布中、薬液の漏れの無いように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - (d)散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - (e)水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
- 作業終了後は、次の項目を守ること。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に適切に処理すること。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理すること。

【適用病害虫および使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数
稲	いもち病 内穎褐変病 もみ枯細菌病 カメムシ類 ウンカ類 コブノメイガ ツマグロヨコバイ	8倍	0.8 ℓ	穂揃期まで	2回以内
	いもち病 カメムシ類 ウンカ類	30倍	3 ℓ		

エトフェンプロックスを含む 農薬の総使用回数	カスガマイシンを含む 農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む 農薬の総使用回数
3回以内	4回以内 (種子浸漬は1回以内, 育苗箱への処理は1回以内, 本田では2回以内)	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内, 本田では3回以内)

【取扱いメーカー】

北興化学

(殺虫・殺菌剤)

(エトフェンプロックス・
トリシクラゾール水和剤)

毒性：普通物

性状：淡黄赤色粘稠水和性懸濁液体

ビームエイトトレボンゾル

成分：エトフェンプロックス…………… 6.2%
トリシクラゾール…………… 8.0%

【特 長】

○いもち病の防除効果が高いビームと、ウンカ・ヨコバイ類に優れた防除効果を発揮するトレボンとを混合した航空防除用の稲病害虫防除剤である。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 混用可能が確かめられているものを除いて、他の農薬との混用は行わない。
- 長時間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にもどしてから所定量を取出す。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌する。
- 散布薬液の飛散によって動植物特に野菜類の幼苗、なし（二十世紀、幸水、新水等）等の農作物の危被害や自動車の塗装等に被害を与える恐れがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 蚕に対して長期間強い毒性があるので、薬液の飛散により桑の茎葉を汚染することのないように桑園のある地帯では使用しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - (a)ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しない。
 - (b)養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努める。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄する。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
 - (c)顔、手足等の皮膚の露出部を石けんでよく洗い、洗眼、うがいをする。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣を着用する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。養殖池等周辺での使用は避ける。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので、十分注意する。
- 散布後は水管理に注意する。

【適用病害虫および使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	エトフェンプロックス を含む農薬の 総使用回数	トリシクラゾールを 含む農薬の 総使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	原液	150 ml	収穫14日 前まで	3回以内	3回以内	4回以内 (育苗箱へ の処理は1 回以内、本 田では3回 以内)
	いもち病 ウンカ類	5倍	800 ml				
	ツマグロヨコバイ カメムシ類	20倍	3 l				

【取扱いメーカー】

クマイ化学, 住友化学, サンケイ化学

(殺虫・殺菌剤)

(クロチアニジン・フェリムゾン
・フサライド水和剤)

毒性：普通物

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

ブラシダントツフロアブル

成分：クロチアニジン…………… 6.6%
フェリムゾン……………15.0%
フサライド……………15.0%

【特 長】

○いもち病に対して治療効果と予防効果をあわせ持つ「ブラシン」と、カメムシ類、ウンカ類に優れた防除効果を示す「ダントツ」を混合した航空防除用の稲病虫害防除剤である。

【注意事項】

- 本剤は長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌する。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布する。
- たばこ、けいとう及びだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- 蚕に対して影響があるので、桑に付着する恐れのある地域では使用しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - (a)ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - (b)関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- マルハナバチに影響を及ぼす恐れがあるので注意する。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
- 散布機種に適合した散布装置を使用する。
- 作業中、薬液が漏れないように機体の散布配管等その他装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって他の動植物及び自動車やカラートタンの塗装、大理石や御影石等に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、また散布区域・周辺の諸物件に十分注意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないよう注意し、病虫害防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【適用病害虫および使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数
稲	いもち病類 ウンカ類 カメムシ類	8倍	800 ml	収穫7日 前まで	2回以内
		30倍	3 l		

クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む 農薬の総使用回数	フサライドを含む 農薬の総使用回数
4回以内 (直播での播種時又は移植時までの処理は1回以内, 本田での散布, 空中散布, 無人ヘリ散布は合計3回以内)	2回以内	3回以内

【取扱いメーカー】

住友化学, 協友アグリ

(殺虫・殺菌剤)

(クロチアニジン・トリシクラゾール
・フェリムゾン水和剤)

毒性：普通物

性状：淡赤色水和性粘稠懸濁液体

ノンブラスダントツフロアブル

成分：クロチアニジン…………… 6.6%
トリシクラゾール…………… 8.0%
フェリムゾン……………15.0%

【特 長】

- いもち病や穂枯れに卓効を示す「ノンブラス」とウンカ類・ツマグロヨコバイ・カメムシ類など稲の重要害虫に効果を示す「ダントツ」との混合剤です。
- 有効成分フェリムゾンはいもち病菌、ごま葉枯病菌の他、穂枯れ性病害起因菌に幅広く高い活性を示します。
- トリシクラゾールは長期間にわたりいもち病菌の侵入阻止効果を発揮し、胞子の形成・飛散を阻害することで二次感染阻止効果が得られます。
- ウンカ類・カメムシ類に速効的な効果を示し、浸透移行性があり、残効性にも優れています。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤は長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出すこと。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布すること。
- 本剤を空中散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - (a)各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - (b)散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - (c)散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置に十分な点検を行うこと。
 - (d)散布薬液の飛散によって動植物、特に野菜類の幼苗、なし（二十世紀、幸水、新水等）等の農作物の危被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - (e)水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
- 作業終了後は次の項目を守ること。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄すること。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 野菜類の幼苗及びなし（二十世紀、幸水、新水等）には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- たばこ、けいとう及びだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 蚕に対して影響があるので、桑に付着する恐れのある地域では使用しないこと。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - (a)ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - (b)養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
- マルハナバチに影響を及ぼす恐れがあるので注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	8倍	800 ml	収穫7日 前まで	2回以内

クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む 農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む 農薬の総使用回数
4回以内 (直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)	2回以内

【取扱いメーカー】

協友アグリ

(殺虫・殺菌剤)

(クロチアニジン・フサライド水和剤)

毒性：普通物

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

ラブサイドダントツフロアブル

成分：クロチアニジン…………… 6.6%
フサライド……………20.0%

【特 長】

- いもち病に卓効を示す「ラブサイド」とウンカ類・ツマグロヨコバイ・カメムシ類など稲の重要害虫に効果を示す「ダントツ」との混合剤です。
- 有効成分フサライドは長期間にわたりいもち病菌の侵入阻止効果を発揮します。
- ウンカ類・カメムシ類に速効的な効果を示し、浸透移行性があり、残効性にも優れています。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ること。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布すること。
- 本剤はいもち病発生に際して予防的に散布した方がより効果的である。
- 蚕に対して影響があるので、桑に付着する恐れのある地域では使用しないこと。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - (a)ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - (b)養蜂が行われている地区では、都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
- マルハナバチに影響を及ぼす恐れがあるので注意すること。
- 本剤を空中散布に使用する場合は、次の事項を守ること。
 - (a)各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - (b)少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - (c)散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - (d)散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- 散布終了後は次の項目を守ること。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。
 - (b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 顔、手足等皮膚の露出部を石けんでよく洗い、うがいをする。
- 使い残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管すること。

【適用病害虫および使用方法】

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	10アール 当 り 散布液量	使用時期	本 剤 の 使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	8倍	800 ml	収穫7日 前まで	3回以内

クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	フサライドを含む 農薬の総使用回数
4回以内 (直播での種時又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人ヘリ散布は合計3回以内)	3回以内

【取扱いメーカー】

協友アグリ

(殺虫・殺菌剤)

(ジノテフラン・フサライド水和剤)

毒性：普通物

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

ラブサイドスタークルフロアブル

成分：ジノテフラン…………… 5.0%
フサライド……………12.0%

【特 長】

○いもち病に予防効果の高いフサライドと、斑点米カメムシ類をはじめとするイネの主要害虫に優れた効果を示すジノテフランの混合剤です。

【注意事項】

- 使用の際は容器をよく振ること。
- 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
- 微量散布及び少量散布の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
- 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行う。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタン塗装等へ影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 作業終了後は次の項目を守る。
 - (a)使用後の空の容器は放置せず、安全な場所へ廃棄する。
 - (b)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は適切に処理する。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ◆ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないこと。
 - ◆関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 散布器具、容器等の洗浄水及び薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。

【適用病害虫および使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当 り 散布液量	使用時期	本剤の 使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	原液	200 ml	収穫7日 前まで	3回以内
		4倍	800 ml		

ジノテフランを含む 農薬の総使用回数	フサライドを含む 農薬の総使用回数
4回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は合計1回以 内、本田での散布、空 中散布、無人ヘリ散布 は合計3回以内)	3回以内

【取扱いメーカー】

北興化学

(殺虫・殺菌剤)

(ジノテフラン・チオファネートメチル水和剤)

毒性：普通物

性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

トップジンスタークルフロアブル

成分：ジノテフラン…………… 5.0%
チオファネートメチル……………20.0%

【特 長】

- 広範囲の病害に有効なベンズイミダゾール系の殺菌成分チオファネートメチルと、カメムシ類・ウンカ類などの幅広い水稻害虫に対し即効性と残効性を有するジノテフランの混合剤である。
- 有効成分「チオファネートメチル」と「ジノテフラン」は、いずれも広範な作物残留基準値を有する。

【注意事項】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 使用前によく振ってから使用すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないこと。
 - ◆関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤を空中散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 - ◆各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ◆微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - ◆散布中、薬液の漏れの無いように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ◆散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ◆水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
 - ◆作業終了後は次の項目を守ること。
 - ①使用後の空の容器は放置せず安全な場所に適切に処理すること。
 - ②機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理すること。
- 本剤を散布した稲わらは家畜の飼料に使用しないこと。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ※誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ※本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ※散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ※作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ※かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ※保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。

【適用病害虫及び使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	散布液量 (ml/10a)	使用時期	本剤の 使用回数
稲	いもち病 紋枯病	4倍	800 ml	収穫14日 前まで	3回以内
	カメムシ類 ウンカ類	15倍	3 l		

ジノテフランを含む 農薬の総使用回数	チオファネートメチルを含む 農薬の総使用回数
4回以内 (育苗箱への処理及び側 条施用は合計1回以内, 本田での散布, 空中散布, 無人航空機散布は合計3 回以内)	3回以内 (種子への処理は 1回以内)

【取扱いメーカー】

北興化学

(殺虫・殺菌剤)

(スルホキサフロル・カスガマイシン
・トリシクラゾール水和剤)

毒性：普通物

性状：淡黄赤色水和性粘稠懸濁液体

有効年限：3年

包装規格：10×12本，50×4缶

ダブルカットエクシードフロアブル

成分：スルホキサフロル……………10.0%
カスガマイシン……………1.37%
〔カスガマイシンとして……………1.20%〕
トリシクラゾール…………… 8.0%

【特 長】

- *いもち病防除剤ダブルカットと殺虫剤エクシードとの混合剤。
- *ダブルカットはいもち病の稲への侵入や病斑形成阻害に加えて、二次感染阻害作用を有することで、優れた残効性を示す。
- *エクシードは新規系統の殺虫剤で、斑点米カメムシ，ウンカ類およびツマグロヨコバイに安定した効果を示す。

【注意事項】

- *本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 1. 各散布機種 of 散布基準にしたがって実施すること。
 2. 少量散布の場合は，微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 3. 無人航空機による散布にあたっては，散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 4. 散布中，薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 5. 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう，散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 6. 水源池，飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。
 7. 作業終了後は次の項目を守ること。
 - (1) 使用後の空容器は放置せず安全な場所に適切に処理すること。
 - (2) 機体散布装置は十分洗浄し，薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。

【適用病害および使用方法】

作物名	適用病害名	希釈 倍数	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法
稲	いもち病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	8倍	0.8 ℓ	穂揃期まで	2回以内	空中散布
		30倍	3 ℓ			空中散布

スルホキサフロル を含む農薬の 総使用回数	カスガマイシン を含む農薬の 使用回数	トリシクラゾール を含む農薬の 総使用回数
3回以内	4回以内 (種子浸漬は1回 以内,育苗箱への処 理は1回以内,本田 では2回以内)	4回以内 (育苗箱への処理 は1回以内,本田で は3回以内)

【取扱いメーカー】

北興化学工業

4. 植物成長調整剤・誘引殺虫剤・林地除草剤・殺そ剤等

<植物成長調整剤>

No.	農薬品名	有効成分 (%)	頁
1	カルパー粉粒剤16	過酸化カルシウム 16.0	71

<誘引殺虫剤>

No.	農薬品名	有効成分 (%)	頁
1	アリモドキコール	MEP 5.0 スウィートビルア 0.0010	73
2	ユーゲサイドD	ダイアジノン 5.0 メチルオイゲノール 80.0	74
3	オキメラコン	ドデシル=アセタート 96.5	75

<林地除草剤>

No.	農薬品名	有効成分 (%)	頁
1	塩素酸塩粒剤	塩素酸ナトリウム 50.0	76
2	ザイトロンフレノック微粒剤	テトラピオン 5.0 トリクロピル 3.0	78
3	ザイトロン微粒剤	トリクロピル 3.0	79
4	バックアップ粒剤	カルブチレート 4.0	80

<殺そ剤>

No.	農薬品名	有効成分 (%)	頁
1	ヤソデオン	ダイファシン 0.0050	81
2	りん化亜鉛10	りん化亜鉛 1.0	82

(植物成長調整剤)

(過酸化カルシウム粉粒剤)

毒性：普通物

カルパー粉粒剤 16

性状：類白色微粒及び粗粉
(45～150 μm)

成分：過酸化カルシウム……………16.0%

【特 長】

○本剤は種粒に粉衣して播種すると、湛水下の土壌中で徐々に酸素を放出し発芽中の種子に酸素を供給することにより水稻の発芽率を向上させ、苗立歩合の安定化に有効である。

【使用上の注意事項】

○粉衣に際しては下記の事項に注意する。

(a)粉衣には浸種した種粒を用い、十分に水切りした後に粉衣する。

(b)種粒の浸漬では、ゆっくり吸水催芽させ鳩胸程度に止める。芽を切った種粒は粉衣の際に芽を欠損する恐れがあるので使用しない。

(c)種粒を消毒する場合は、本剤の粉衣前に種子消毒剤の所定濃度液に浸漬する。

(d)粉衣処理の際浸漬した種粒の水切りが不十分であったり、一時に水を多量に噴霧すると本剤を投入した時に薬剤や種粒が団子状になり、均一な粉衣ができなくなるので注意する。

(e)使用後の容器などはそのまま放置すると、均一な粉衣ができなくなるので充分清掃しておく。

(f)粉衣処理は専用の回転式粉衣機又は自動式粉衣機を使用すると効率的である。

○本剤を粉衣した種粒を湛水直播水稻栽培で播種する場合は下記の点に注意する。

(a)播種する時は、植代かき後の水の濁っている時、または植代かき後土壌表面が柔らかいうちに、粉衣した種粒が土中に埋没するように播種する。

(b)本剤を乾燥種粒重量の等倍から2倍量未満で使用する場合には落水出芽法を併用し、発芽苗立を促進するために播種直後から出芽始めまでの間落水し、田を乾かす。北海道を除く全域において本剤を乾燥種粒重量の2倍量で使用する場合には必ずしも落水出芽法と併用する必要はない。

(c)本剤を2倍量より少ない量で粉衣処理した場合、特に播種機を利用の播種では想定した播種量より繰出し量が多くなるので播種開始前に播種量を調整する。

(d)空中播種による散播で使用する場合、各散播機種の基準に従う。

○本剤を北海道において乾田直播早期湛水栽培で使用する場合には、北海道の水稻乾田播種早期湛水栽培暫定基準に従う。

○本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

○使用の際は保護眼鏡、不浸透性手袋などを着用する。使用後は洗眼する。

○本剤は水分を吸収すると固化して使用できなくなるので、開封後は使い残しのないようにする。

【適用範囲と使用方法】

作物名	使用目的	使用時期	薬量	適用地帯
直播水稻	発芽率の向上 苗立歩合の安定	は種前 浸種後	乾燥種籾重量の等倍～2倍量	全域

本剤の使用回数	過酸化カルシウムを含む農薬の総使用回数	備考
1回	1回	湿粉衣

(使い方)

- 回転式粉衣処理は攪拌が容易で、薬剤及び水の投与が簡単な容器で行う。種籾を入れ攪拌しながら本剤の所定量の一部を少量投入する。本剤が種籾に付着し、余分な本剤が飛びはじめたら噴霧器等で水の噴霧を開始する。水は連続で噴霧しながら、本剤を少量ずつ投入する。粉衣状態を見ながら投入をくりかえす。本剤所定量の少量を残した時点で水の噴霧を止める。水の噴霧を止めた後、この少量残した本剤を投入し3分間攪拌を続ける。
- 本剤を粉衣した種籾を30分程度ゴザ等にひろげ、陰干しをして薬剤が固まってから網袋に入れる。当日播種できない場合は、風通しがよく雨水がかからない場所にスノコ等の上にむれないように保存する。また、乾燥しすぎると粉衣の破損が大きくなるので早めに播種する。

【取扱いメーカー】

日本化薬，三井化学C&L，北興化学，協友アグリ，保土谷化学

(誘引殺虫剤)

(MEP・スウィートビルア油剤)

毒性：普通物

アリモドキコール

性状：淡黄色澄明油状液体

成分：MEP…………… 5.0%
スウィートビルア…………… 0.0010%

危険物表示：第2石油類・危険等級Ⅲ

【特 長】

- アリモドキゾウムシの雌成虫を誘引する性フェロモン(スウィートビルア)とMEPの混合製剤で、雌成虫の交尾を阻害し、圃場における幼虫の発生を抑制します。
- 本剤を吸着させたテックス板は、手軽に散布・配置ができ広域防除に適します。
- 合成性フェロモンなので天敵や他の動物に対しても全く影響が無く安全に使用できます。

【注意事項】

- アリモドキゾウムシの加害作物であるかんしょ圃場だけでなく、それを含むできるだけ広範な地域で使用した方が効果的である。
- 森林、畑地等を対象とし、かんしょ等の作物に本剤が付着しないように十分注意する。
また、本剤が河川等に飛散、流入しないように十分注意する。
- 誘殺板などは必ず1枚ごとに危険物であることを表示し、また、防除地域内の住民が誘殺板にさわったり、持ち去ることがないように周知させる。
- 子供が遊ぶ場所には誘殺板を配置しない。
- 鹿などの棲息する地域では、これらの動物の誤飲を防ぐために、誘殺板を金属製などの網に包んで設置する。
- 誘殺板等は1～3ヶ月間隔で新しいものと取り替える。
- 害虫の棲息密度などと防除地域の状況に応じて誘殺板の設置数を増減する。

【適用害虫および使用方法】

適用場所	作物名	適用害虫名	使用量	本剤の使用回数	使用方法
アリモドキゾウムシ発生地域	かんしょ	アリモドキゾウムシ	80 g/ha	12回	本剤を4.5×4.5×0.9cmのテックス板に1枚当たり10g吸収させて、航空機により発生地域(森林、畑地等)に1ha当たり8枚投下する。

【取扱いメーカー】

サンケイ化学

(誘引殺虫剤)

(ダイアジノン・メチルオイゲノール油剤)

毒性：普通物

ユーゲサイドD

性状：淡黄色油状液体

有効期限：3年

成分：ダイアジノン…………… 5.0%
メチルオイゲノール……………80.0%

危険物表示：第4類第2石油類

【特 長】

*本剤は、ミカンコミバエを特異的に誘引するメチルオイゲノールと、速効的な殺虫効果を示すダイアジノンを含む製剤です。これを誘殺板、綿ロープ等に吸わせて、ミカンコミバエ発生地域に処理すると高い誘引殺虫効果を示します。

【注意事項】

- *誘殺板は必ず1枚ごとに危険物であることを表示し、また防除地域内の住民が誘殺板、綿棒にさわったり、持ち去ることがないように注意を周知させること。
- *誘殺ロープ、誘殺板などの大きさ、1ha当りの投下及び配置数は使用方法の使用量を標準とするが、害虫の生息密度などの防除地域の状況に応じて適宜増減すること。
- *本剤に含有するダイアジンは魚介類に対する毒性があるので、養魚池などに入らないよう十分注意すること。
- *本剤は広い地域におけるミカンコミバエの生息密度の低下を主目的として使用するもので、防除対象地域はミカンコミバエの加害作物栽培ほ場だけでなく、それらを含むできるだけ広範な地域で長期間連続して使用することが望ましい。
- *鹿等の生息する地域では、これら動物の誤食を防ぐ為に、誘殺板を金属製等の網に包んで投下及び設置すること。
- *航空機又は無人航空機から投下する場合は以下に注意すること。
 - ①処理は各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ②処理に当たっては、散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③水源池、飲料用水、養殖池、養魚田等に本剤が飛散流入しないように十分注意すること。

【適用病害虫・雑草及び使用方法】

作物名	適用場所	適用害虫名	使用方法
果樹類 野菜類 樹木類 花き類・観葉植物	ミカンコミバエ 発生地域全域	ミカンコミバエ	②直径6～7mm長さ150mの純綿ロープに本剤2.5kgを吸収させた後、5～10cmに切断して発生地域(村落、果樹園、畑等を除く。)に1ha当り6～12本の割合で航空機、無人航空機から投下する。 ③本剤を4.5×4.5×0.9cmのテックス板1枚当り10g(±2g)又は6×6×0.9cmのテックス板1枚当り約25gを吸収させて発生地域(村落、果樹園、畑を除く。)に航空機、無人航空機から投下するか、村落、果樹園、畑の樹木等に吊り下げて設置する。(1～3枚/1ha)

【取扱いメーカー】

サンケイ化学(琉球産経、第一農薬)

(殺虫剤)

(オキメラノルア剤)

毒性：普通物

オキメラコン

性状：淡黄色澄明油状液体

消防法：第4類第3石油類

成分：ドデシル＝アセタート……………96.5%

有効期限：18か月

包装規格：1 m×100本×10束

【特 長】

- 1) 人畜および魚介類に対する安全性が高く、環境に悪影響を与えません。有効成分の安全性が極めて高いうえ、施用量も極少量。自然界では速やかに水と二酸化炭素に分解されます。
- 2) 作物に対する薬害および残留性はありません。チューブに封入されており、通常の使用法では薬害・残留の心配がありません。
- 3) 高い特異性があり、オキナワカンシャクシコメツキを狙い撃ち。天敵などの益虫を減らすことなく自然界が本来持っている防除力を活用できます。
- 4) 効果の持続期間は3～4か月。成虫の発生が例年と多少ズレても防除期間を外しません。

【注意事項】

- 1) 本剤は、オキナワカンシャクシコメツキの各成虫の交尾を連続的に阻害し、交尾率を低下させることによる次世代の密度低下を目的としているので、これらの対象害虫の成虫発生初期から収穫期まで連続的に比較的広範囲な地帯で使用する事が望ましい。
- 2) 対象害虫が高密度に存在する場合には状況に応じて天敵に影響の少ない殺虫剤を併用することが望ましい。
- 3) 本剤は対象地帯に均一になるように配置すること。また、立地条件や風向、傾斜等により効果が振れる場合があるので、諸条件から判断して、必要な場合は使用量の範囲内で、特に周辺部に多めに配置することが望ましい。
- 4) ススキ原のように植物体にしっかりと固定することが難しい場合や、現地が断崖絶壁で近づくのが危険と思われる場合は、空中から投下するか、安全な場所から投げて処理すること。
- 5) 急傾斜地、風の強い地帯等本剤の濃度を維持するのが困難な地域では使用しないこと。
- 6) 薬剤が水源池、飲料用水、養殖池、養魚田などに飛散、流入しないように十分注意すること。
- 7) 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【適用病害虫及び使用方法】

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法
オキナワカンシャクシコメツキが加害する農作物等	オキナワカンシャクシコメツキ発生地帯	オキナワカンシャクシコメツキ	13～20本/10a (0.85g/1 m 製剤)	成虫発生初期から終期	空中散布又は投げ入れる。

【取扱いメーカー】

信越化学工業

(林地除草剤)

(塩素酸塩粒剤)

毒性：劇物

デゾレート A Z 粒剤
クサトール F P 粒剤
クロレート S

性状：類白色粒状 (デゾレート A Z 粒剤)
類白色細粒 (クサトール F P 粒剤)
類白色粒状 (クロレート S)

成分：塩素酸ナトリウム……………50.0%

【特 長】

- 塩素酸ナトリウムの強い酸化力により種々の雑草やササ類の生育を抑制または防除する。
- クマイザサ、ミヤコザサ、ネマガリダケ等の笹類に対して著しい効果を示す。
- スギ、ヒノキ、トドマツ、エゾマツ、カラマツ、ブナ等の造林地のササ防除剤として全面処理することができる。

【注意事項】

- リン、イオウ、アンモニア塩類およびアンモニア性肥料、ガソリン・灯油等の油類、強酸性物質、木・繊維類のような可燃物との混合は危険なので、同一保管をさける。
- 降雨時、降雨の予想される場合、使用をさける。
- 林地の地ごしらえ用として用いた場合は最低3カ月間は植付を行わない。
- 下刈りに使用する場合、植付当年の使用はしない。

【適用雑草および使用方法】

(デゾレート A Z 粒剤)

作物名・適用場所	適用雑草木名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	塩素酸塩を含む 農薬の総使用回数
開墾後に栽培する農作物等 (開墾地)	一年生及び多年生雑草、雑かん木、ササ類、ススキ	雑草生育期 (積雪時及び土壌凍結時を除く)	15 kg ~25 kg	—	—
まつ、からまつ、えぞまつ、とどまつ (地ごしらえ)				2回以内	3回以内
ぶな、かんば (地ごしらえ)				2回以内	3回以内 (全面土壌散布は1回以内、但し当該処理をする場合には雑草茎葉散布、全面均一散布、空中散布及び株処理は合計1回以内)
すぎ、ひのき (地ごしらえ)			10 kg ~20 kg	2回以内	3回以内
まつ、からまつ、えぞまつ、とどまつ (下刈り)				2回以内	3回以内 (全面土壌散布は1回以内、但し当該処理をする場合には雑草茎葉散布、全面均一散布、空中散布及び株処理は合計1回以内)
ぶな、かんば (下刈り)					
すぎ、ひのき (下刈り)					

(クサトールFP粒剤) (クロレートS)

作物名・適用場所	適用雑草木名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	塩素酸塩を含む 農薬の総使用回数
開墾後に栽培する 農作物等 (開墾地)	一年生 及び多年生 雑草, 雑か ん木	雑草生育期	15 kg ~25 kg	—	—
まつ, からまつ, えぞまつ, とどまつ (地ごしらえ)				2回以内	3回以内
ぶな, かんば (地ごしらえ)				2回以内	3回以内 (全面土壌散布は1 回以内, 但し当該処理をする 場合には雑草茎葉散布, 全面 均一散布, 空中散布及び株処 理は合計1回以内)
すぎ, ひのき (地ご しらえ)			10 kg ~20 kg	2回以内	3回以内
まつ, からまつ, えぞま つ, とどまつ (下刈り)				2回以内	3回以内
ぶな, かんば (下刈り)				2回以内	3回以内 (全面土壌散布は1 回以内, 但し当該処理をする 場合には雑草茎葉散布, 全面 均一散布, 空中散布及び株処 理は合計1回以内)
すぎ, ひのき (下刈 り)					

【取扱いメーカー】

デゾレートAZ粒剤 : 日本カーリット
 クサトールFP粒剤 : 保土谷アグロテック
 クロレートS : エス・ディ・エス バイオテック

(林地除草剤)

(テトラピオン・トリクロピル粉粒剤)

毒性：普通物

ザイトロンフレノック微粒剤

性状：類白色微粒

成分：テトラピオン…………… 5.0%
トリクロピル…………… 3.0%

【特 長】

- 1回の散布でクズ，落葉かん木，ススキ，ササ，草本類にいたる総合防除が可能です。
- 下刈効果が翌年にわたって期待できます。
- スギ，ヒノキ造林地の下刈用防除剤として全面処理することができます。

【注意事項】

- スギ，ヒノキ造林地以外では使用しない。
- 農作物（果樹，桑等）へのドリフトによる薬害の恐れがあるような農耕地に隣接する造林地での散布はさける。

【適用雑草および使用方法】

作物名・適用場所	適用雑草木名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	テトラピオンを 含む農薬の 総使用回数	トリクロピルを 含む農薬の 総使用回数
ひのき すぎ コウヨウザン (下刈り)	クズ 落葉雑かん木 ススキ 1年生及び多 年生草本 ササ類	雑草木の 新葉展開 後～ 生育盛期	8～10 kg	2回以内	2回以内	2回以内

【取扱いメーカー】

保土谷アグロテック，コルテバ・ジャパン

(林地除草剤)

(トリクロピル粉粒剤)

毒性：普通物

ザイトロン微粒剤

性状：類白色微粒

成分：トリクロピル…………… 3.0%

【特 長】

- クズ，落葉雑かん木に優れた効果を示します。
- 茎葉吸収移行により，広葉植物を選択的に防除するホルモン型除草剤です。
- スギ，ヒノキ造林地の下刈用防除剤として全面処理することができます。

【注意事項】

- スギ，ヒノキ造林地以外では使用しない。
- 散布地域に隣接して，マツ類の造林地，果樹園，畑地等がある場合には十分注意する。

【適用雑草および使用方法】

作物名・適用場所	適用雑草木名	使用時期	10アール 当り使用量	本 剤 の 使用回数	トリクロピルを 含む農薬の 総使用回数
ひのき す ぎ (下刈り)	落葉雑かん木 1年生及び 多年生広葉雑草 クズ	雑草木の 新葉展開 後～ 生育盛期	12 kg	2回以内	2回以内
	クズ		9 kg		

【取扱いメーカー】

保土谷アグロテック，コルテバ・ジャパン

(林地除草剤)

(カルブチレート粒剤)

毒性：普通物

バックアップ粒剤

性状：類白色細粒

成分：カルブチレート…………… 4.0%

【特 長】

- ヒノキ造林地の下刈用として全面処理により確実な効果が期待できます。
- ササ落葉雑かん木に優れた効果を示します。
落葉雑かん木での効果の高いものは次のとおりです。
エゴノキ・タラノキ・シデ・ヤマザクラ・リョウブ・ヌルデ・ヤマハギ・コウゾ・キイチゴ・ネジキ・ヤマツツジ・ノリウツギ・ヤマブキ・ヤマウルシ・ムラサキシキブ・コナラ・クサギ・アベマキ・マンサク
- 主に根から吸収移行して効果を現しますので、散布時は均一に落下するよう、ていねいに散布する。
- 散布後多少の降雨があっても、薬効に影響ありません。
- 防除効果が長く持続しますので、対象雑草の再生を抑えます。このため、散布翌年の再生量が少なく翌年時の下刈経費節減に大きく役立ちます。
- 造林木ひのきには薬害がなく、生長にも何ら影響がありません。

【注意事項】

- ヒノキ造林地以外では使用しない。
例：松は 120kg で枯れます。
- 付近に農作物等がある場合には、誤って飛散流入させないように、十分注意する。
- 遅効性で効果の発現までに時間がかかります。適期に航空防除をしたら、再散布を誤ってしない。
- 樹高 1.5m 以上のかん木や大きな切株からの太い萌芽、および常緑かん木が優先する場所での効果は不安定なのでさける。
(効果の出にくいかん木は次のとおり)
アブラチャン・ヤマコウバシ・ニワトコ・ヤマアジサイ・サルトリイバラ・ノイバラ・フジツル・カシワ等

【適用雑草および使用方法】

作物名・適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	カルブチレート を含む農薬の 総使用回数
ひのき 造林地（下刈り）	落葉雑かん木 1年生及び 多年生雑草	新葉展開前～展開 初期 雑かん木 (3～4月)	12 kg	1回	1回
	ササ	5～7月			

【取扱いメーカー】

エス・ディー・エス バイオテック

(殺そ剤)

(ダイファシン系粒剤)

毒性：劇物

ヤソデオ

性状：褐色粒状

成分：ダイファシン…………… 0.0050%

【特長】

- 本剤は約5g～10gの小袋に分包されており、そのまま使用して下さい。
- ネズミの誘食剤が配合されているので喫食性に優れ、効果が的確です。
- 抗血液凝固作用を有する殺そ剤で内臓器官の出血を起こし、致死までにやや時間が掛かりますが警戒されにくく、ネズミがよく食べます。
- 通常の使用法においては薬害の恐れはありません。
- 通常の使用法においては魚毒の恐れは殆どありません。

【注意事項】

- 作業時は直接手に触れないように手袋などを用いて取り扱い、作業後及び直接身体に付着した時は石鹸でよく洗う。
- 小児や家畜が毒餌を誤って食べる恐れのある場所での使用は避ける。
- 本剤は野そが連続して摂取することにより効果を現すので、使用量は一回の摂取量に比べて多量（連続摂食量）になっています。使用量を誤らないよう注意する。
- 実施後の食べ残し毒餌や空容器などはなるべく回収して土中に埋没するなどの処理する。
- 航空防除の場合の使用量はネズミの生息密度によって所定範囲内で適宜増減する。
- 一般的に水源地域は養魚池に飛散しないよう注意する。

【適用害獣及び使用方法】

作物名	適用場所	適用害獣名	使用量／ヘクタール	使用方法	本剤の使用回数	ダイファシン系を含む農薬の総使用回数
野そが加害する農作物等	山林	野そ	2～3 kg	ヘリコプターによる防除。 造林地及びその周辺30mに所定量空中散布する。	—	—
さとうきび	さとうきび畑			ヘリコプターによる防除。 所定量を空中散布する。		

【取扱いメーカー】

大塚薬品

(殺そ剤)

(リン化亜鉛粒剤)

毒性：普通物

りん化亜鉛 10

性状：黒色粒状

成分：リン化亜鉛…………… 1.0%

【特 長】

- ネズミの嗜好物を配合して、喫食率を高めています。
- 特殊な加工を施してありますので、雨露に濡れても効果、喫食率が急激に低下することはありません。

【注意事項】

- 危害防止及び毒餌に体臭をつけないため、作業中は手袋などを用いて直接手で触れないようにすること。作業後は必ず手をよく洗うこと。
- 毒餌を密封の袋から取り出す際は、臭いがかがないように注意すること。
- 処理後食べ残しの薬剤は出来るだけ回収し、土中などに埋設処理すること。
- 子供や家畜が誤食するようなおそれのある場所では、使用しないこと。
- 本剤に酸類が作用すると有毒なリン化水素を発生するので、酸類には絶対に近づけないこと。また、吸湿しないように注意すること。
- 食品類、家畜の飼料などに混入しないように注意すること。
- 通常の使用方法では毒性は低いですが、誤食などのないよう注意すること。万一中毒を感じた場合、あるいは誤って摂食した場合は速やかに胃の中の未吸収物を吐き出させ、安静にして直ちに医師の手当を受けること。応急処置としては過マンガン酸カリウム0.3%液で胃洗浄を行い、重炭酸ソーダを内服させること。
- 必要に応じて人工呼吸及び酸素吸入を行なうこと。
- ミルクなどの油脂含有物を与えないこと。

【適用害獣および使用方法】

作物名	適用場所	適用害獣名	使用量/ヘクタール	使用 方 法
エゾヤチネズミが加害する農作物等	山 林	エゾヤチネズミ	1 kg	造林地及びその周辺30mに本剤の所定量を全面に空中散布する。

【取扱いメーカー】

ホクサン

Ⅲ. 農薬の安全使用

1. 航空防除用農薬の混用事例集

(1) 航空防除用農薬の現地混用について

すでに、混合剤の登録農薬がある場合は、それを使用してください。なお、適当な混合剤がない場合、病害虫の発生状況や気象状況の変化等に対応し、やむを得ず複数の農薬を混用する必要が生じた場合は、当該農薬の表示事項を遵守するとともに、当該剤が当該農作物等に登録があることを確認した上で使用してください。

(2) 航空防除における農薬混用事例集についての注意事項

- 1) この混用事例集は、航空防除の水稻病害虫防除における農薬登録の範囲の希釈濃度で、混用後すみやかに散布をすることを前提として作成しました。
- 2) この混用事例集は、使用者が混用する際の目安となるように、混用に伴う物理化学的变化、散布装置に対する適合性、薬害等の試験例・事例を参考に取りまとめたものです。また、本事例集は、危害防止の観点から、的確な防除を行う上での混用事例を紹介するもので、混用をすすめるものではありません。
- 3) 混用の手順
原則として、以下の手順で混用してください。
 - ①微量散布における混用は、粘性の高い製剤の混用となることから、混用液の均一性を確実にするため、散布直前に必ず十分攪拌してください。
 - ②液剤少量散布における混用は、「第1農薬」の希釈液を調整した後、「第2農薬」を加えて混合溶液を調整してください。
 - ③液剤散布における混用は、混用する農薬の順序は問いませんが、乳剤との混用の場合は乳剤の希釈液を調整した後、他の農薬を加えて混合溶液を調整することが望ましいです。
- 4) なお、混用に当たっては各農薬の製品ラベルをよく読み、他の農薬との混用に関する注意事項が表示されている場合は、それを厳守してください。また、本事例集の発行後に登録内容が変更される場合もありますので、登録内容の確認を充分に行ってください。

(3) 航空防除の病害虫防除における農薬混用事例集

1) 微量散布における混用事例集

(いもち剤+もんがれ剤)

ビームエイトゾル ビームゾル ラブサイドフロアブル	モンセレンフロアブル
ビームゾル ラブサイドフロアブル	バリダシンエアー
ビームエイトゾル ビームゾル ラブサイドフロアブル	モンカットフロアブル

2) 液剤少量散布における混用事例集

第 1 農 薬 (農薬メーカー名)	第 2 農 薬 (農 薬 メ ー カ ー 名)
アミスターエイト (協 友)	スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L) スミチオン乳剤 (協友) ダントツフロアブル (協友*, 住友)
カ ス ミ ン 液 剤 (北 興)	バシタックゾル (クミ化) バリダシンエアー (住友, 北興) スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L) スミチオン乳剤 (北興, 日農, サンケイ, クミ化)
ビ ー ム エ イ ト ゾ ル (ク ミ 化)	バシタックゾル (クミ化) バリダシンエアー (住友, 北興) モンカットフロアブル (日農) モンセレンフロアブル (協友) スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L) スミチオン乳剤 (クミ化) トレボンエアー (クミ化*, ホクサン*, サンケイ*, 三井C&L)
ビ ー ム エ イ ト ゾ ル (住 友)	スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L)
ビ ー ム ゾ ル (ク ミ 化)	バシタックゾル (クミ化) モンカットフロアブル (日農) モンセレンフロアブル (協友) スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L) スミチオン乳剤 (北興, サンケイ, クミ化) トレボンエアー (クミ化*, ホクサン*, サンケイ*, 三井C&L)
ビ ー ム ゾ ル (住 友)	バシタックゾル (クミ化) バリダシンエアー (住友, 北興) モンセレンフロアブル (協友) スミチオン乳剤 (北興)
ノ ン ブ ラ ス フ ロ ア ブ ル (協 友)	スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L)
フ ジ ワ ン 乳 剤 (日 農 , 協 友)	バシタックゾル (クミ化) モンセレンフロアブル (協友) スミチオン乳剤 (北興, 協友, 日農, サンケイ, クミ化)
ブ ラ シ ン ゾ ル (住 友 , 北 興)	バリダシンエアー (住友, 北興) モンセレンフロアブル (協友) スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L) スミチオン乳剤 (北興)

第 1 農 薬 (農薬メーカー名)	第 2 農 薬 (農 薬 メ ー カ ー 名)
ラブサイドフロアブル (北興, 協友)	バシタックゾル (クミ化) バリダシンエアー (住友, 北興) モンカットフロアブル (日農) モンセレンフロアブル (協友) スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L) スミチオン乳剤 (北興, 協友, 日農)
ラブサイドフロアブル (協友)	トレボンエアー (クミ化*, ホクサン*, サンケイ*, 三井C&L)
バシタックゾル (クミ化)	スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L) スミチオン乳剤 (クミ化)
バリダシンエアー (住友)	フジワン乳剤 (日農) スミチオン乳剤 (北興, 協友)
バリダシンエアー (サンケイ)	カスミン液剤 (北興) ビームゾル (クミ化, 住友) フジワン乳剤 (日農) ブラシンゾル (北興, 住友) ラブサイドフロアブル (北興, 協友) スミチオン乳剤 (北興, 協友)
バリダシンエアー (北興)	ビームゾル (クミ化) スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L) スミチオン乳剤 (北興) トレボンエアー (クミ化*, ホクサン*, サンケイ*, 三井C&L)
モンカットフロアブル (日農)	カスミン液剤 (北興) ビームゾル (住友) スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L)
モンセレンフロアブル (協友)	スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L) スミチオン乳剤 (北興, 協友) ダントツフロアブル (協友*, 住友)
ビームバリダゾル (住友)	スミチオン乳剤 (北興)
モンカットラブサイド20フロアブル (日農)	スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) /スタークルメイト液剤10 (三井C&L)
ラブサイドモンセレンフロアブル (協友)	スミチオン乳剤 (協友) ダントツフロアブル (協友*, 住友) トレボンエアー (クミ化*, ホクサン*, サンケイ*, 三井C&L)

第 1 農 薬 (農薬メーカー名)	第 2 農 薬 (農 薬 メ ー カ ー 名)
スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サ ンケイ*) スタークルメイト液剤10 (三井C & L)	アミスターエイト (協友) カスミン液剤 (北興) ビームエイトゾル (クミ化) ビームゾル (クミ化) ノンブラスフロアブル (協友) バシタックゾル (クミ化) バリダシンエアー (北興) モンカットフロアブル (日農) ビームバリダゾル (住友) モンカットラブサイド20フロアブル (日農)
トレボンエアー (クミ化*, ホクサン*, サンケイ*, 三井C & L)	カスミン液剤 (北興) バシタックゾル (クミ化) バリダシンエアー (北興) モンセレンフロアブル (協友) ビームバリダゾル (住友)
ビームエイトトレボンゾル (クミ化)	バシタックゾル (クミ化) バリダシンエアー (住友) モンセレンフロアブル (協友) スミチオン乳剤 (北興, クミ化)
ダントツフロアブル (住友)	アミスターエイト (協友) デラウスフロアブル (住友) ノンブラスフロアブル (協友) バリダシンエアー (北興) ビームエイトゾル (クミ化) ビームゾル (クミ化) ビームバリダゾル (住友) フジワン乳剤 (協友) ブラシンゾル (住友) ブラシンバリダゾル (住友) モンカットフロアブル (日農) モンカットラブサイド20フロアブル (日農) モンセレンフロアブル (協友) ラブサイドフロアブル (協友) ラブサイドモンセレンフロアブル (協友)
ダブルカットフロアブル (北興)	バリダシンエアー (北興) スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) / スタークルメイ ト液剤10 (三井C & L) スミチオン乳剤 (住友, 北興)
ダブルカットトレボンフロアブル (北興)	バリダシンエアー (北興) バシタックゾル (クミ化) モンセレンフロアブル (協友)
ダブルカットバリダフロアブル (北興)	スタークル液剤10 (北興*, クミ化*, サンケイ*) / スタークルメイト液剤10 (三井C & L)

第 1 農 薬 (農薬メーカー名)	第 2 農 薬 (農 薬 メーカー 名)
キラップフロアブル (バイエル, 北興)	アミスターエイト (協友) カスミン液剤 (北興) バリタックゾル (クミ化) バリダシンエアー (北興) ビームエイトゾル (クミ化) ビームゾル (クミ化) ブラシンゾル (住友, 北興) ブラシンバリダゾル (北興) モンセレンフロアブル (協友) カスラブジョーカーゾル (北興)

第 1 農 薬 (農薬メーカー名)	第 2 農 薬 (農薬メーカー名)	第 3 農 薬 (農薬メーカー名)
ビームエイトゾル(クミ化)	バシタックゾル (クミ化)	トレボンエアー(クミ化*, ホクサン*, サンケイ*, 三井C&L)

(注)会社名* : 販売のみの会社

農薬会社凡例	
協友：協友アグリ株式会社	日産：日産化学株式会社
クミ化：クミアイ化学工業株式会社	日農：日本農薬株式会社
サンケイ：サンケイ化学株式会社	ホクサン：ホクサン株式会社
住友：住友化学株式会社	北興：北興化学工業株式会社
	三井C&L：三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

3) 液剤散布における混用事例集

① 「いもち病剤+もんがれ病剤」

カスミン液剤 ビームエイトゾル ビームゾル フジワン乳剤 ブラシンゾル ラブサイドフロアブル	バシタックゾル
カスミン液剤 ビームエイトゾル ビームゾル ブラシンゾル ラブサイドフロアブル	バリダシンエアー
ビームエイトゾル ビームゾル フジワン乳剤 ラブサイドフロアブル	モンカットフロアブル
アミスターエイト ビームエイトゾル ビームゾル フジワン乳剤 ブラシンゾル ラブサイドフロアブル	モンセレンフロアブル

② 「いもち病剤+殺虫剤」

カスミン液剤	スタークル液剤10/スタークルメイ ト液剤10 スミチオン乳剤, 水和剤 ダントツフロアブル トレボンエアー
ビームエイトゾル	スタークル液剤10/スタークルメイ ト液剤10 スミチオン乳剤 ダントツフロアブル トレボンエアー
ビームゾル	スタークル液剤10/スタークルメイ ト液剤10 スミチオン乳剤 ダントツフロアブル トレボンエアー
フジワン乳剤	スミチオン乳剤 ダントツフロアブル

ブラシンゾル	スタークル液剤10／スタークルメイト液剤10 スミチオン乳剤 ダントツフロアブル トレボンエアー
ラブサイドフロアブル	スタークル液剤10／スタークルメイト液剤10 スミチオン乳剤 ダントツフロアブル トレボンエアー

③「もんがれ病剤＋殺虫剤」

バシタックゾル	スミチオン乳剤 トレボンエアー
バリダシンエアー	スタークル液剤10／スタークルメイト液剤10 スミチオン乳剤 ダントツフロアブル
モンカットフロアブル	スミチオン乳剤 ダントツフロアブル
モンセレンフロアブル	スタークル液剤10 スミチオン乳剤 ダントツフロアブル ロムダンエアー

④「いもち病・もんがれ病剤＋殺虫剤」

アミスターエイト	スタークル液剤10／スタークルメイト液剤10 スミチオン乳剤 ダントツフロアブル トレボンエアー
カスミンバリダシン液剤	スミチオン乳剤
ビームバリダゾル	スミチオン乳剤
ブラシンバリダゾル	ダントツフロアブル トレボンエアー
ラブサイドモンセレンフロアブル	ダントツフロアブル トレボンエアー

⑤「殺虫剤＋殺虫剤」

スミチオン乳剤，水和剤	バッサ乳剤
アプロードゾル	スミチオン乳剤 ダントツフロアブル トレボンエアー

⑥「殺虫・殺菌剤＋殺菌剤又は殺虫剤」

ビームエイトトレボンゾル	バシタックゾル バリダシンエアー モンセレンフロアブル スミチオン乳剤
--------------	--

⑦「いもち病剤＋もんがれ病剤＋殺虫剤」

ビームエイトゾル	バシタックゾル	トレボンエアー
ブラシンゾル	バリダシンエアー	スミチオン乳剤

⑧大豆「殺菌剤＋殺虫剤」

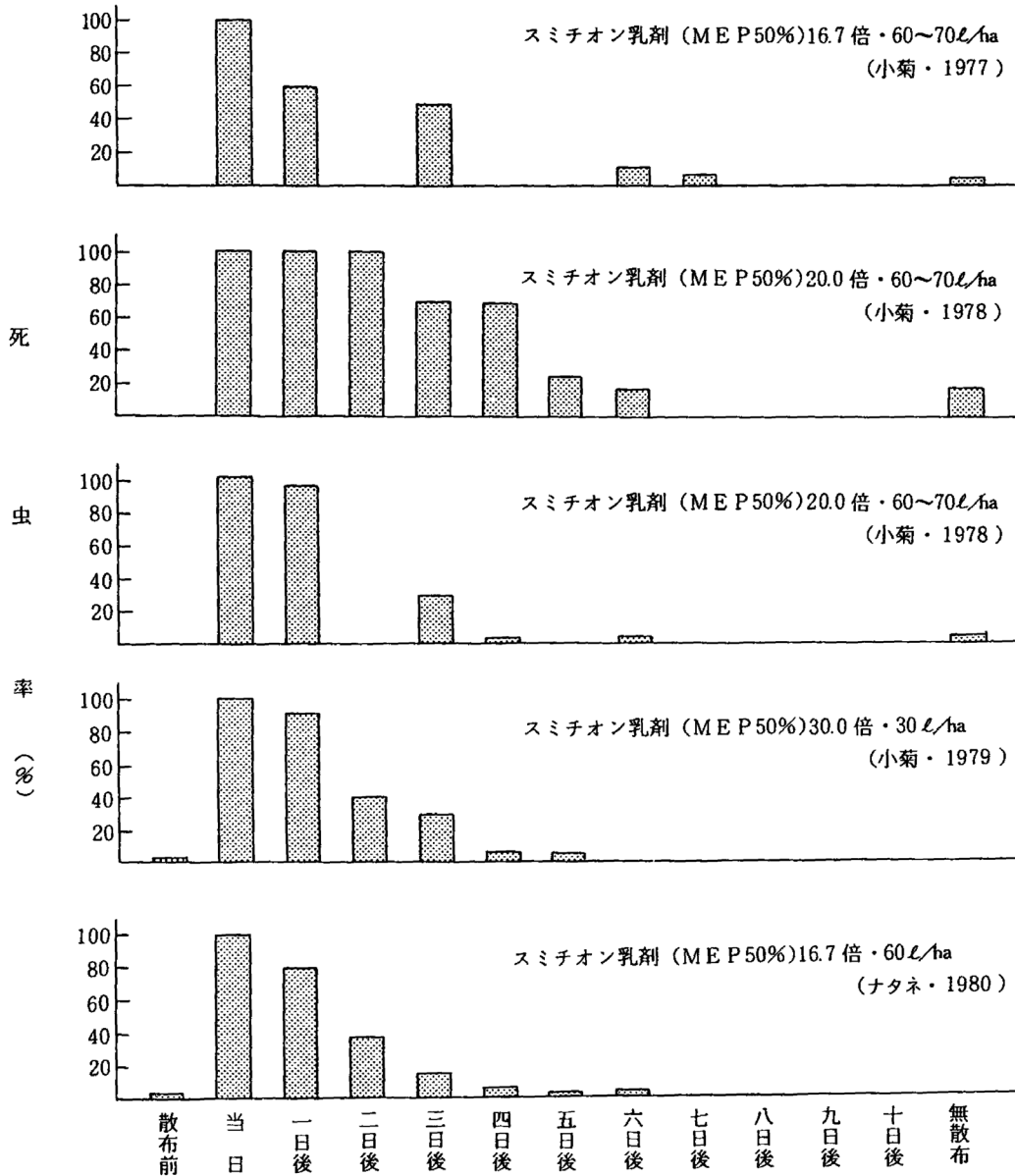
トップジンMゾル	スミチオン乳剤
----------	---------

2. 蜜蜂に対する影響

蜜源植物に散布された殺虫剤のミツバチに対する影響

以下に掲げる図表から次の点を指摘することができます。

- スミチオン乳剤(ME P 50%)30倍・30ℓ/ha散布では、4～5日後で影響なし。
- スミチオン乳剤(ME P 50%)16～20倍・60ℓ/ha散布では、ほぼ7日後で影響なし。
- 植物の種類(小菊・ナタネ)により安全日数に差異が見られます。
- 殺菌剤の中にも、ミツバチに対する影響の大きいものがあります。



虫体散布等によるミツバチに対する影響

(1) 殺菌剤（昭和54年8～9月実施）

薬 剤 名	希釈倍数	散布量	24時間後の死虫率
カ ス ミ ン 液 剤	30 倍	30 l /ha	7 %
ラ ブ サ イ ド ゾ ル	30	30	2
フ ジ ワ ン 乳 剤	30	30	53
〃	30	30	(2)
無 処 理	—	—	3

(2) 殺菌剤（昭和59年8月実施）

薬 剤 名	希釈倍数	散布量	24時間後の死虫率
ビ ー ム ゾ ル	原液	1.2	0
モンセレンフロアブル	—	1.2～3.6	0
無 処 理	—	—	0

(3) 殺虫剤（昭和56年～58年実施）

薬 剤 名	希釈倍数	散布量	24時間後の死虫率
ス ミ チ オ ン 乳 剤	16.7 倍	60 l /ha	100 %
無 処 理	—	—	0

() は48時間後死虫率

ラブサイドフロアブルのミツバチに対する影響（平成7年 三重大学生物資源学部）

(1) 個体に対する影響試験

投 与 方 法	塗 布
供 試 薬 剤	ラブサイドフロアブル原液
投与量 (μ g / 頭)	250, 500, 1000
試 験 の 結 果	1000 μ g / 頭でも死亡例なし

塗布はセイヨウミツバチの前伸腹節上に行った。

(2) 群態に対する影響

試験方法	<p>①接触試験 ラブサイドフロアブル原液を$1.2\text{ml}/\text{m}^2$（航空散布の10倍量）散布した板を巣箱の入り口に10日設置（すべての出帰巣する働きバチがこの板上を歩行するよう設置）し、散歩30日後まで群に対する影響を巣を内見して調査した。</p> <p>②経口試験 ラブサイドフロアブル原液を黄双糖液（30%）に$1\text{ml}/\ell$（成分濃度200ppm）の割合で希釈し、1群当り2ℓを給餌器に入れ翌日まで給餌した。いずれの群もすべての餌を摂取していた。給餌30日後まで群に対する影響を巣を内見して調査した。</p>
調査内容	<p>①女王バチの異常行動 ②女王バチに対する働きバチの異常行動 ③巣内における働きバチの異常行動 ④働きバチの攻撃性の昂進 ⑤巣箱内外の働きバチの死亡数 ⑥翅型異常働きバチの出現数 ⑦蜂子の発育及び死亡率の異常</p>
調査結果	<p>接触試験および経口試験において、ミツバチ群態への影響は見られなかった。</p>

3. 蚕（桑）に対する影響

次に主要農薬の落下指数別に見た安全日数の調査結果を示しました。

(1) 殺菌剤

有効成分	農薬の名称	有効成分 分量	濃度 (倍)	落下指数			安全日数 (日)
				A粒子	B粒子	C粒子	
トリシクラゾール	ビームゾール	20	原液	1～4			当日桑で中毒なし
フサライド	ラブサイドフロアブル	20	原液	1, 3			1
バリダマイシン	バリダシンエアー	5	原液	1～4			当日桑で中毒なし
フルトラニル	モンカットフロアブル	20	8	1～4			10～20
メプロニル	バシタックゾール	40	8	2～4			30
				1			20
			30	3～4			15
				1～2			5
ペンシクロン	モンセレンフロアブル	20	原液	1～4			当日桑で中毒なし
			8	1～4			当日桑で中毒なし

(2) 殺虫剤

有効成分	農薬の名称	有効成分 分量	濃度 (倍)	落下指数			安全日数 (日)
				A粒子	B粒子	C粒子	
M E P	スミチオン乳剤	50	8	3～5	2～4	1	20
				2～3			15
				1～2			5
			30	1～5			5
	スミパイン乳剤	80	4	4			20
				1～3			15
エトフェンプロックス	トレボンエアー	10	30	3～4			30日以上

(注) 上の表に示した「安全日数」については、あらゆる条件に適用できる絶対値と考えることは危険です。

この成績は各県蚕業試験場で試験した結果を集約し取りまとめたものです。

表中の“落下指数”については、別に定めた落下調査指標と照合していただくと実用上便利です。

5. 各種農薬製剤の自動車塗装に対する影響

◎判定方法

薬剤散布し、中性洗剤を含んだ脱脂綿で塗装板の表面を水洗したあと、薬痕を判定。

凡例 {
 △：薬痕が場合によっては認められるもの
 ×：薬痕がわずかでも認められるもの
 ULV：微量散布・LV：少量散布
 S：液剤散布

(1) 液剤

カスミン液剤	LV	△
--------	----	---

(2) ゴル剤

ラブサイドフロアブル	ULV	△
ビームゾル	ULV	△
ビームエイトゾル	ULV	△
モンセレンフロアブル	ULV	△
ビームエイトトレボンゾル	ULV	△
ラブサイドフロアブル	LV	△
ビームゾル	LV	△
バシタックゾル	LV	△
ダブルカットフロアブル	LV	△
ダブルカットトレボンフロアブル	LV	△
ビームエイトトレボンゾル	LV	△
ラブサイドフロアブル	S	△
ビームゾル	S	△
バシタックゾル	S	△
トップジンMゾル	S	△
ビームエイトトレボンゾル	S	△

(3) 乳 剤

フ ジ ワ ン 乳 剤	L V	△
ス ミ チ オ ン 乳 剤	L V	×
ト レ ボ ン エ ア ー	L V	△
ス ミ チ オ ン 乳 剤	S	×
ト レ ボ ン エ ア ー	S	△

(4) 水 和 剤

ス ミ チ オ ン 水 和 剤	S	△
-----------------	---	---

6. 航空防除に使用される主な農薬の有効成分

(1) 殺菌剤

有効成分名 (農薬名)	製剤型			
	水和	乳剤	液剤	粒剤
アゾキシストロビン (アミスター)	○			
イソプロチオラン (フジワン)		○		
カスガマイシン (カスミン)	○		○	
チオファネートメチル (トップジン)	○			
トリシクラズール (ビーム)	○			
バリダマイシン (バリダシン)	○		○	
ピロキロン (コラトップ)				○
フェリムゾン (ブラシン)	○			
フサライド (ラブサイド)	○			
フルトラニル (モンカット)	○			
プロベナゾール (オリゼメート)				○
ペンシクロン (モンセレン)	○			
メプロニル (バシタック)	○			

(2) 殺虫剤

有効成分名 (農薬名)	製剤型			
	水和	乳剤	液剤	MC剤
エチプロール (キラップ)	○			
エトフェンプロックス (トレボン)	○	○		○
クロチアニジン (ダントツ)	○			
ジノテフラン (スタークル)			○	
チアクロプリド (エコワン3)	○			
ブプロフェジン (アプロード)	○			
MEP (スミチオン, スミパイン)	○	○		○

(3) その他

有効成分名 (農薬名)	製剤型			
	油 剤	液 剤	粉 粒	粒 剤
過酸化カルシウム (カルパー)			○	
スウィートビルア	○			
メチルオイゲノール (ユーゲサイド)	○			
塩素酸ナトリウム (塩素酸塩剤)				○
カルブチレート (バックアップ)				○
テトラピオン (フレノック)			○	
トリクロピル (ザイトロン)			○	
ダイファシン (ヤソヂオン)				○
リン化亜鉛				○

7. 航空防除後の降雨が防除効果に及ぼす影響

本資料は航空防除後に降雨があった場合を想定し、降雨が防除効果にどの程度影響するかについて、関係農薬メーカーの協力を得て行った試験をとりまとめたものです。

1. いもち病防除剤

◎平成7年度農林水産航空事業受託試験成績書より抜粋

(1) 液剤散布区 (30倍希釈, 30 l / ha 散布)

薬 剤 名	降 雨 処 理 区				無 降 雨 区	
	散布30分後		散布3時間後		――	
	病斑数 ¹⁾	防除価	病斑数 ¹⁾	防除価	病斑数 ¹⁾	防除価
ブ ラ シ ン ゾ ル	0.0	100%	0.0	100%	0.0	100
ラブサイドフロアブル	0.0	100%	0.0	100%	0.0	100
ビ ー ム ゾ ル	1.0	96%	1.6	94%	0.2	99
カ ス ミ ン 液 剤	1.2	95%	2.2	92%	0.1	99
無 散 布 区			26.0			

(注) ①¹⁾ : 薬剤散布時に展開していた葉の1葉当たりの平均病斑数, 接種7日後調査

②降雨条件: 降雨の強さ 10mm/時間, 降雨時間 30分間

(2) 液剤少量散布区 (8倍希釈, 8 l / ha 散布)

薬 剤 名	降 雨 処 理 区				無 降 雨 区	
	散布30分後		散布3時間後		――	
	病斑数 ¹⁾	防除価	病斑数 ¹⁾	防除価	病斑数 ¹⁾	防除価
ブ ラ シ ン ゾ ル	8.6	90%	5.3	94%	0.9	99%
ラブサイドフロアブル	2.6	97%	6.7	92%	1.9	98%
無 散 布 区			83.4			

(注) ①¹⁾ : 薬剤散布時に展開していた葉の1葉当たりの平均病斑数, 接種7日後調査

②降雨条件: 降雨の強さ 10mm/時間, 降雨時間 30分間

2. もんがれ病防除剤

(1) モンセレンフロアブル

◎昭和59年度農林水産航空技術合理化試験成績書より抜粋

供 試 薬 剤	散布条件	降雨処理	病斑高 (cm)		防除価 (%)	
			10月14日	10月31日	10月14日	10月31日
モンセレンフロアブル	希釈倍数 8倍 散布量 8 l/ha	散布30分後	0.2	5.6	98.8	81.5
		1時間後	0.3	5.9	98.2	80.5
		2時間後	0.3	6.0	98.2	80.1
		4時間後	0.4	4.8	97.6	84.1
		無降雨	2.7	7.7	83.9	74.5
(地上散布)	1500倍	無降雨	1.5	1.9	91.1	93.7
無処理区		無降雨	16.8	30.2	—	—

(注) ①降雨条件：降雨の強さ 10mm/時間，降雨時間 1時間

②接種処理：散布 10月3日，散布1日後にもんがれ病菌接種

(2) モンカットフロアブル

◎昭和62年度農林水産航空技術合理化試験成績書より抜粋

供 試 薬 剤	散布条件	降雨処理	病斑高 (cm)	防除価 (%)
モンカットフロアブル	希釈倍数 8倍 散布量 8 l/ha	散布直後	2.1	90
		30分後	2.7	87
		1時間後	2.6	88
		2時間後	1.7	92
		4時間後	2.4	89
		無降雨	2.8	87
(地上散布)	1000倍	無降雨	0.8	96
無処理区		無降雨	21.3	—

(注) ①降雨条件：降雨の強さ 5mm/時間，降雨時間 1時間

②接種処理：散布 9月17日，散布1日後にもんがれ病菌接種

③効果調査：接種7日後

[参考資料]

雨の強さとその状況 (坂上, 1976)

雨の強さ	1 分間雨量	1 時間雨量	1 日雨量	状 況
微 雨	^{mm} 0.02以下	^{mm} 1 以下	^{mm} 5 以下	地面は、ほとんどぬれないか、 或いはわずかにぬれる程度。注 意しないと気づかない程度。
小 雨	0.02～ 0.05	1～5	5～20	地面は湿るが、水たまりはほと んどない。
並 雨	0.05～ 0.25	5～10	20～50	地面に水たまりができ、雨の降 る音が聞こえる。
大 雨	0.25～ 1	10～20	50～100	地面一帯に水たまりができ、激 しい雨の音が聞こえる。
豪 雨	1 以上	20以上	100以上	どしゃぶり、雨どいや下水があ ふれる。

農業気象学 (文永堂) より抜粋

IV. 索引

ーアー

アミスターエイト	6
アミスタートレボンSE	53
アリモドキコール	73
エコワン3フロアブル	42
オーケストラフロアブル	47
オキメラコン	75
オリゼメート粒剤20	26

ーカー

カスミン液剤	9
カルパー粉粒剤16	71
キラップフロアブル	34
クサトールFP粒剤／クロレートS	76
コラトップ粒剤24	20

ーサー

ザイトロン微粒剤	79
ザイトロンフレノック微粒剤	78
スタークル液剤10／スタークルメイト液剤10	40
スミチオン水和剤40	44
スミチオン乳剤	45
スミパイン乳剤	49
スミパインMC	51

ーター

ダブルカットエクシードフロアブル	68
ダブルカットトレボンフロアブル	55
ダブルカットバリダフロアブル	11
ダブルカットフロアブル	10
ダントツフロアブル	39
デゾレートAZ粒剤	76

トップジンM水和剤	13
-----------	----

トップジンMゾル	14
----------	----

トップジンスタークルフロアブル	66
-----------------	----

トレボンエアー	35
---------	----

トレボンスカイMC	37
-----------	----

ーナー

ノンブラスフロアブル	18
------------	----

ノンブラスダントツフロアブル	61
----------------	----

ーハー

バシタックゾル	32
---------	----

バックアップ粒剤	80
----------	----

バリダシンエアー	19
----------	----

ビームゾル	15
-------	----

ビームエイトゾル	16
----------	----

ビームエイトトレボンゾル	57
--------------	----

ビームバリダゾル	17
----------	----

フジワン乳剤	8
--------	---

ブラシingleゾル	21
------------	----

ブラシダントツフロアブル	59
--------------	----

ブラシバリダゾル	22
----------	----

ブラシバリダフロアブル	27
-------------	----

ブラシフロアブル	29
----------	----

ーマー

モンカットフロアブル	24
------------	----

モンカットラブサイド20フロアブル	25
-------------------	----

モンセレンフロアブル	31
------------	----

ーヤー

ヤソチオン	81
ユーゲサイドD	74

ーラー

ラブサイドスタークルフロアブル	65
ラブサイドダントツフロアブル	63
ラブサイドフロアブル	23
りん化亜鉛10	82

あ と が き

航空防除用農薬要覧を刊行いたしました。

この要覧が関係者に広く活用され、農林水産航空事業の計画や実行段階の円滑な推進のためお役に立つことを願うものです。

各農薬の解説にあたっては、登録情報により関係農薬会社から寄稿をいただきました。

農薬の登録状況や使用方法等は、新たな科学的知見等に基づき随時見直されています。農薬使用に係る最新の情報については、農林水産省のホームページ「農薬コーナー」 (<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>) ,

(独) 農林水産消費安全技術センター農薬検査部

(<https://www.acis.famic.go.jp/index.htm>) 及び取扱いメーカーHP等で確認して下さい。農薬別解説ページの「毒性」欄に記載されている普通物とは毒劇物に該当しないものを指している通称です。

なお、その後の登録情報による内容の変更については、「農林航空情報」に掲載します。

航空防除用農薬要覧 2024

令和6年3月

一般社団法人 農林水産航空協会
東京都千代田区平河町2-7-1
塩崎ビル
電話 03 (3234) 3380 (代表)
FAX 03 (5211) 8025
